

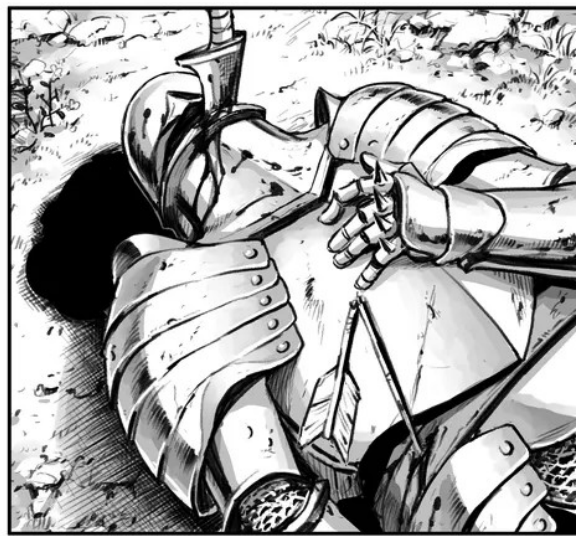
迦

-K A I-



逅

-K O U-



部隊長の
遺体はあったか？

どうやら
奇襲を受けた
ようです：

幾つか敵の死体も
ありますが…
先遣隊はほぼ全滅、

いえ…

痕跡から察するに
連れ去られた
可能性が高いです。

我々の総攻撃が
計画されている事は
敵も既に知っている。

作戦の情報を
聞き出す為に
生け取りに
されたのだろう…

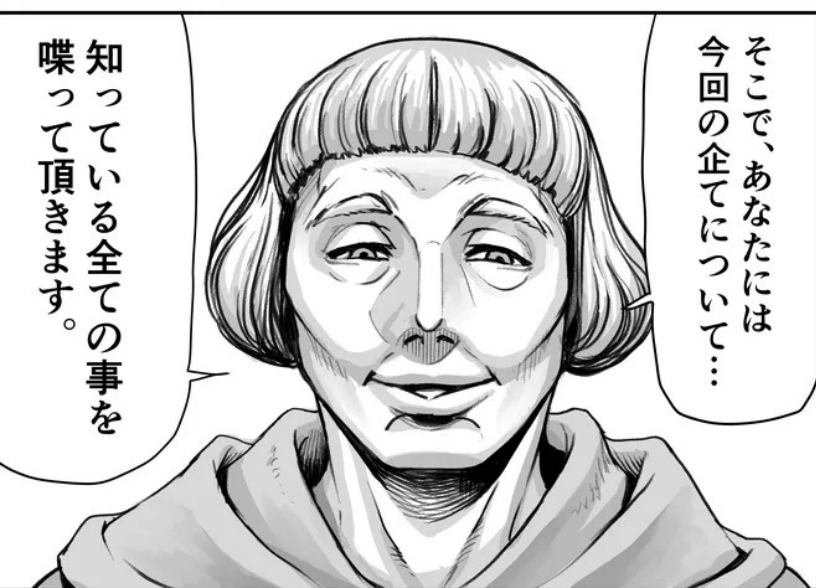
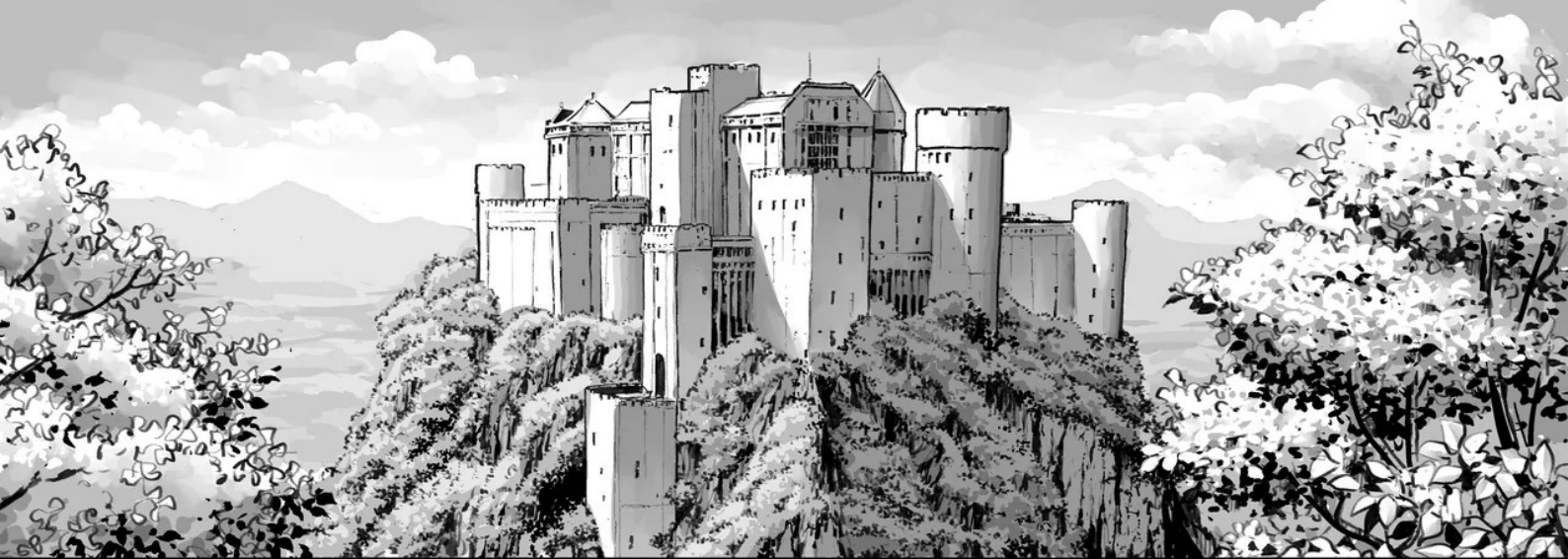
…では
一刻も早く
救出を！

いや。

息子が…俺の後に
部族を率いるに値する
者ならば、

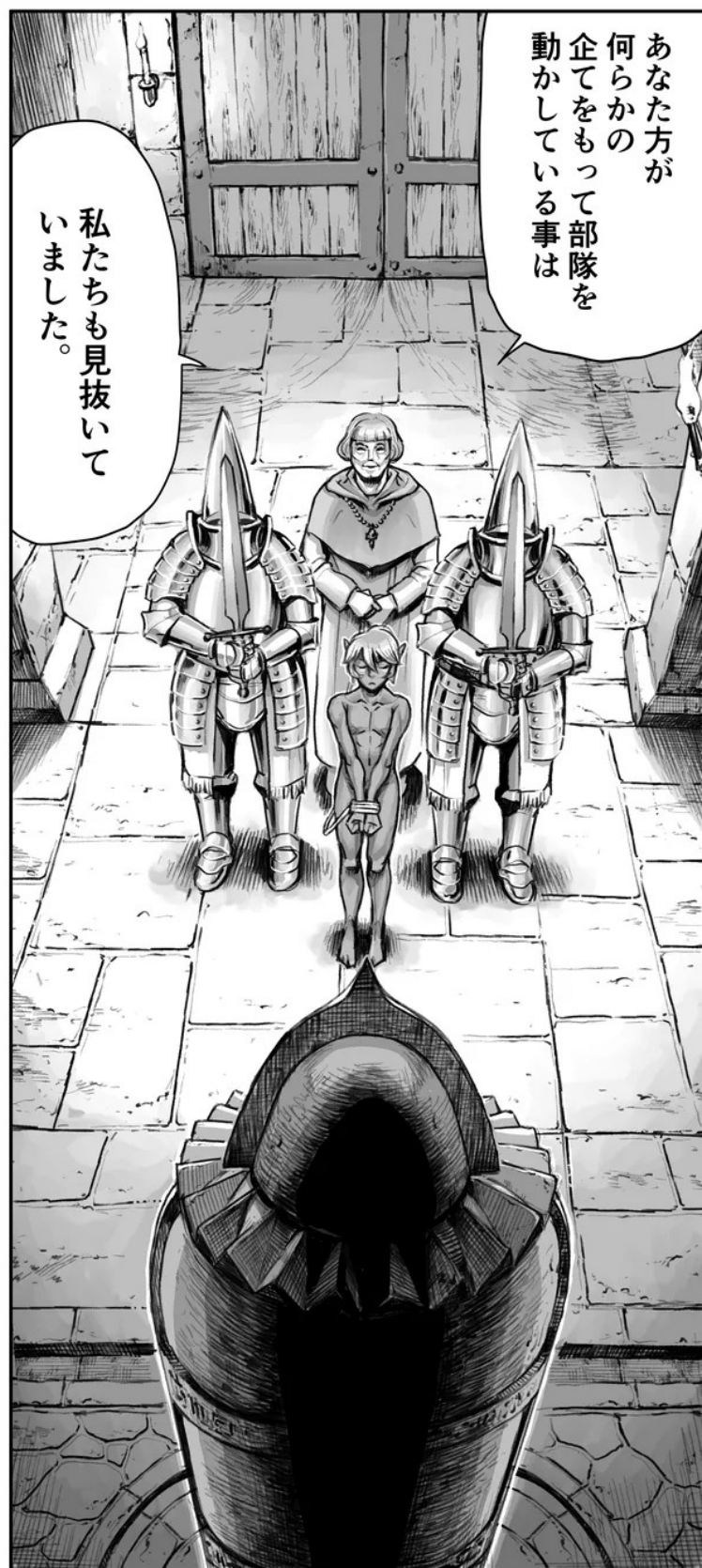
この作戦は全軍の
緻密な連携が必要なのだ…
限られた戦力を救出に
割くわけにはいかない。

必ずやこの状況を
乗り越えるだろう。



知っている全ての事を
喋って頂きます。

そこで、あなたには
今回の企てについて…



あなたの方が
何らかの
企てをもって部隊を
動かしている事は

私たちも見抜いて
いました。



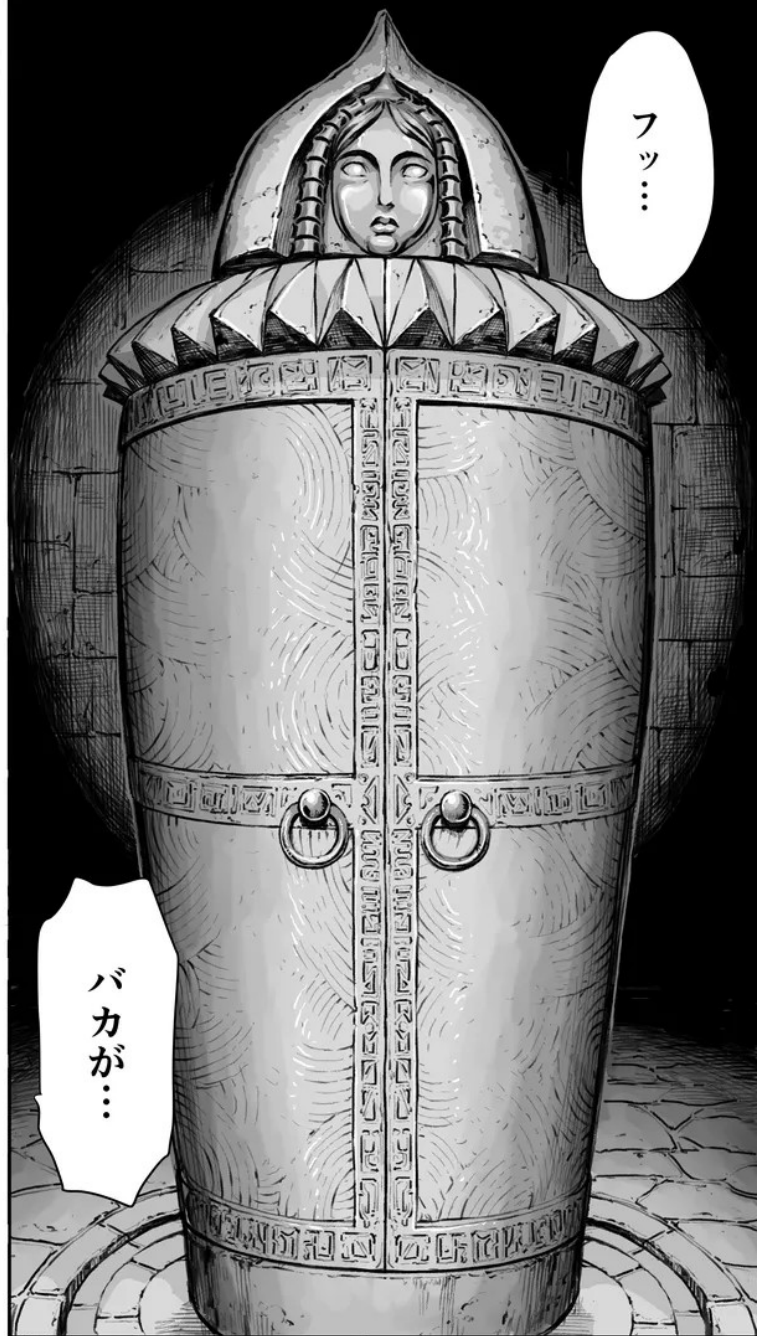
時間の無駄だ

我ら部族に痛みや
苦痛など無意味…



さっさと殺せ!!

……



フツ…

バカが…



あなたは
何か…

勘違いを
されているようですね

え…



フフフツ…

ガッ…

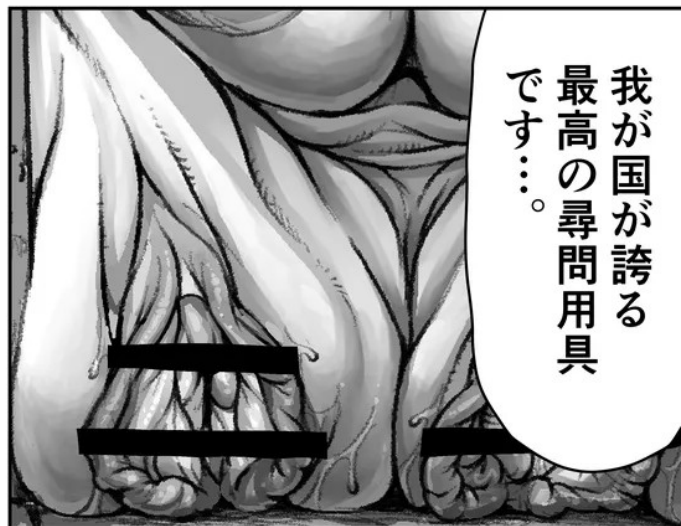
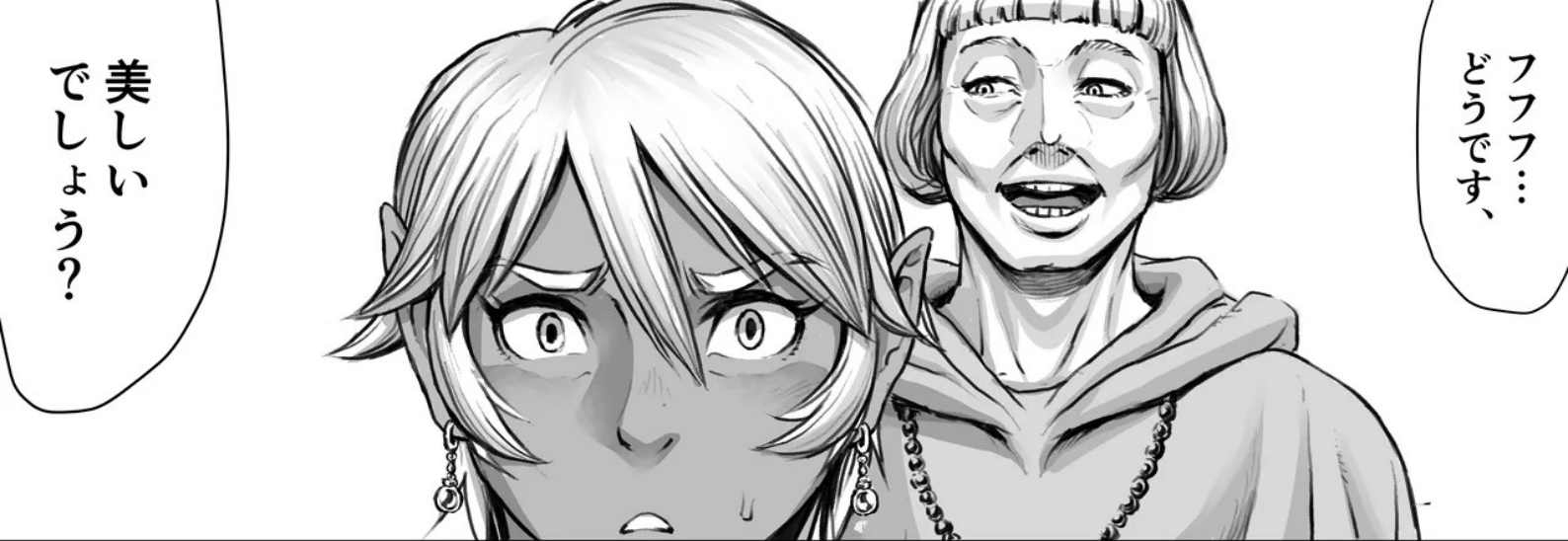
迦

-K A I-

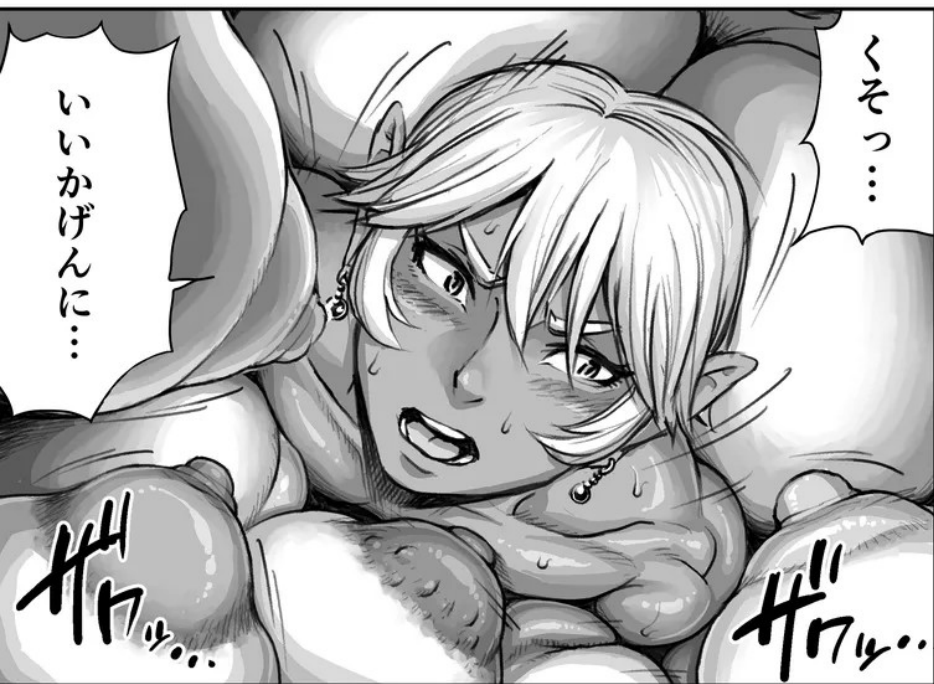
逅

-K O U-

漫画 だぶるでっく











…どうして？

どうして母様と
別々にくらすの？

あなたは私たち
部族を守る
戦士の子です…

今日から…

一人前になるまでは
同じ戦士達だけで

暮らすのです…

ボク、まだ母様と
一緒にいい…

立派な
戦士になって…

行って
らっしゃい…

私の可愛い
ぼうや…

ぼうや…

わたしの元に
帰ってくるのですよ…



わたしの
いとしい...

ほうちち...



ちゅ...

ニクン...

ニクン...

ニクン...

ちゅちゅ...



ニクン!

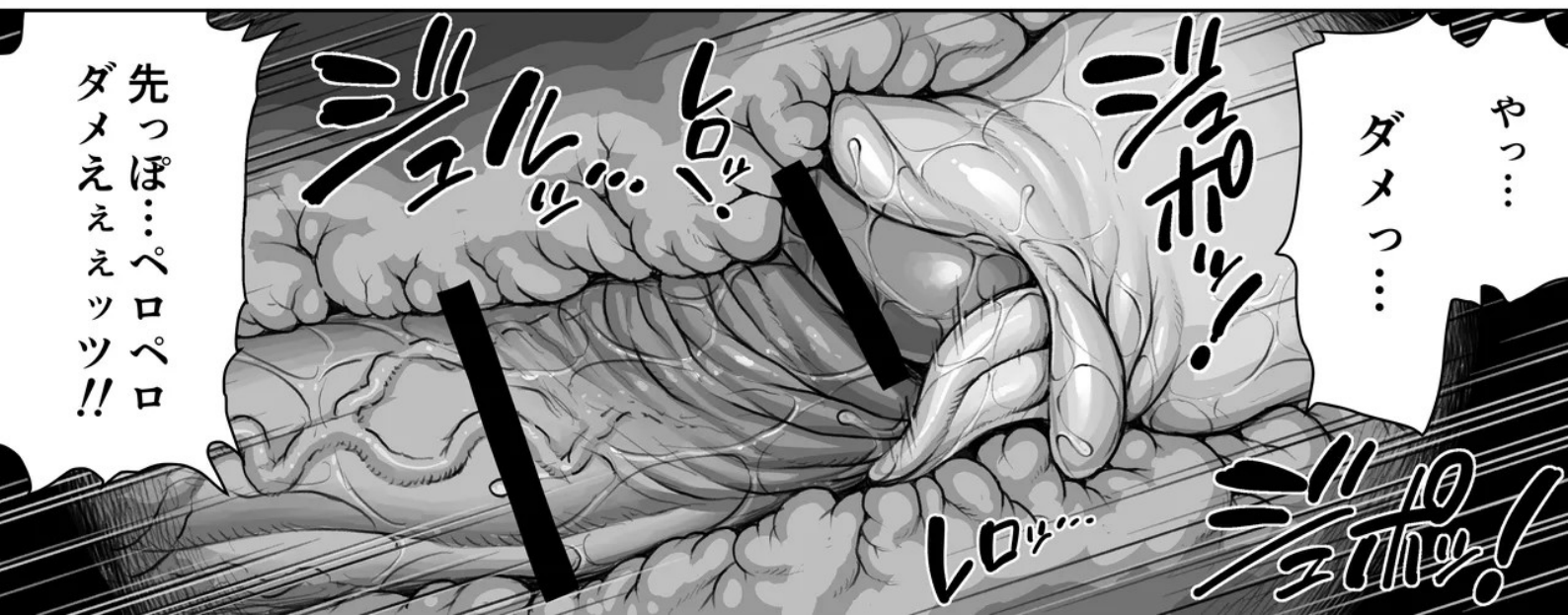
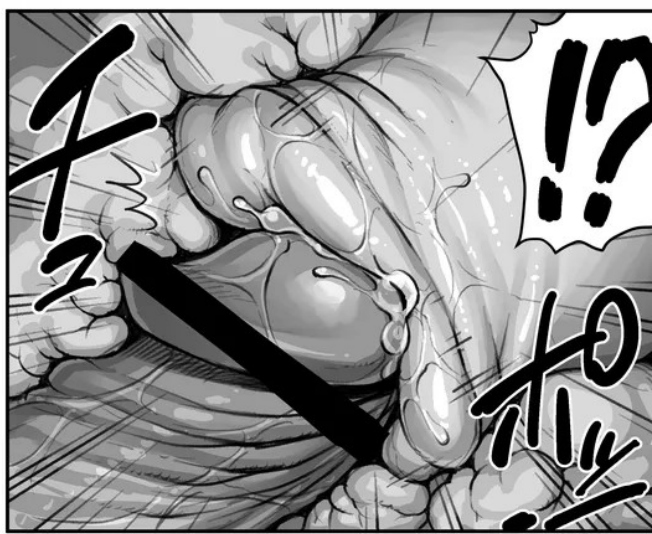
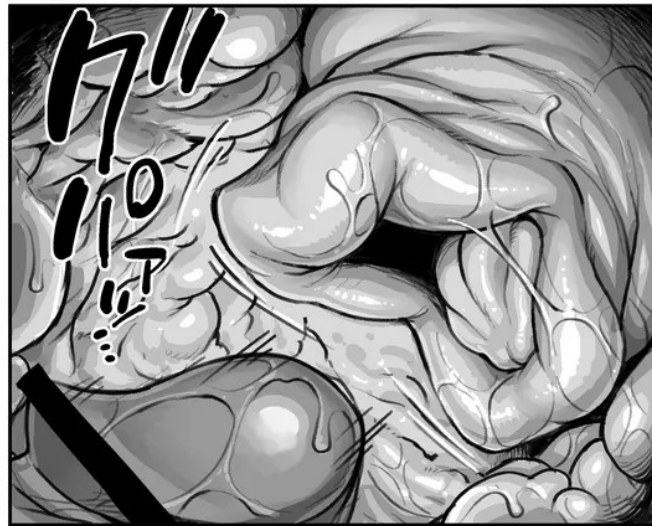
ニクン...



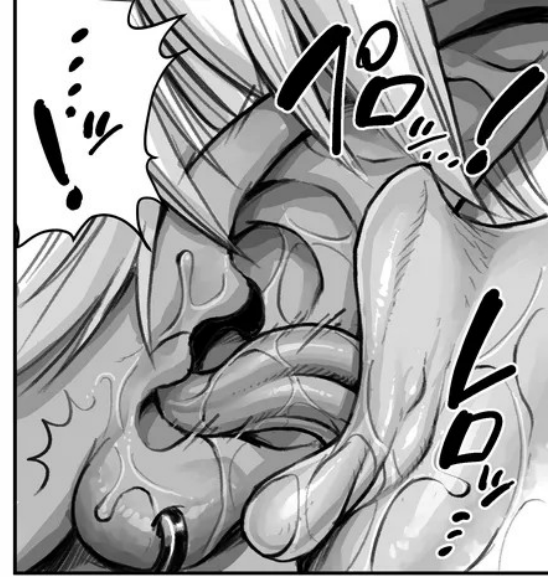
ニクン...

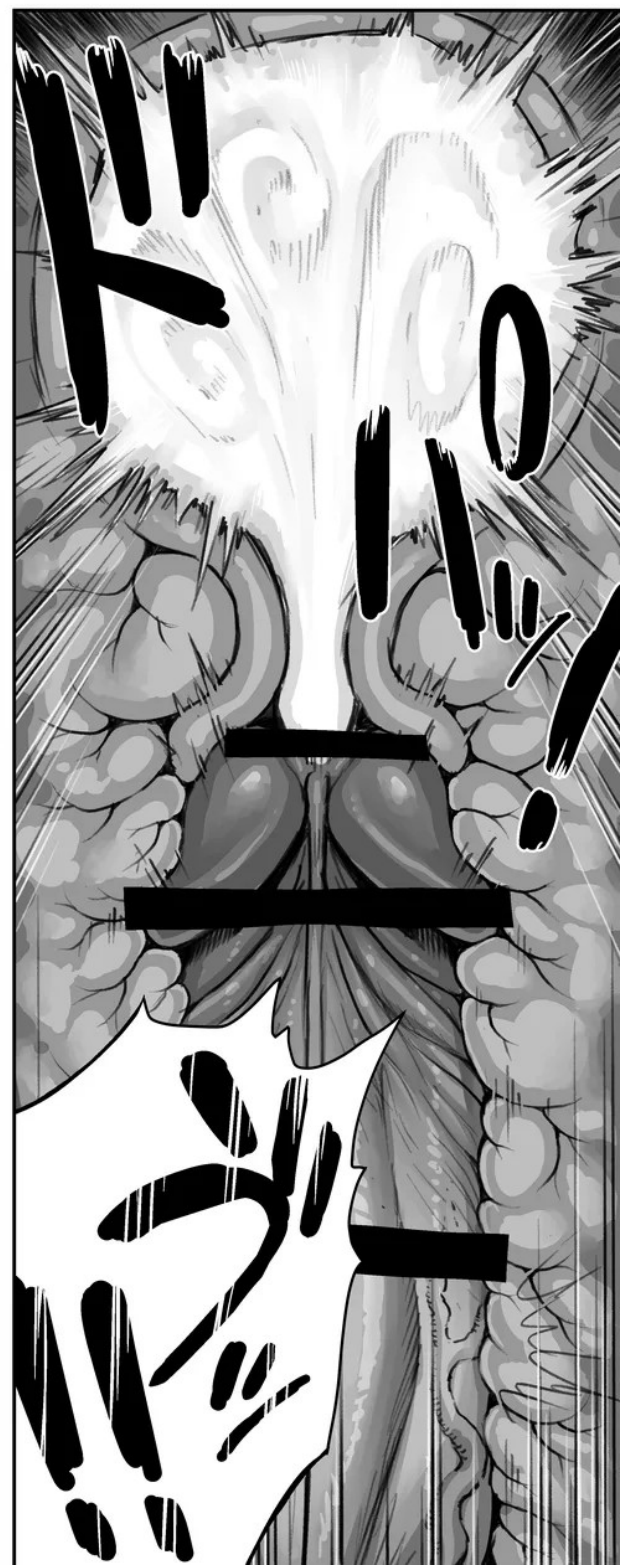
ニクン...











はぁっ…

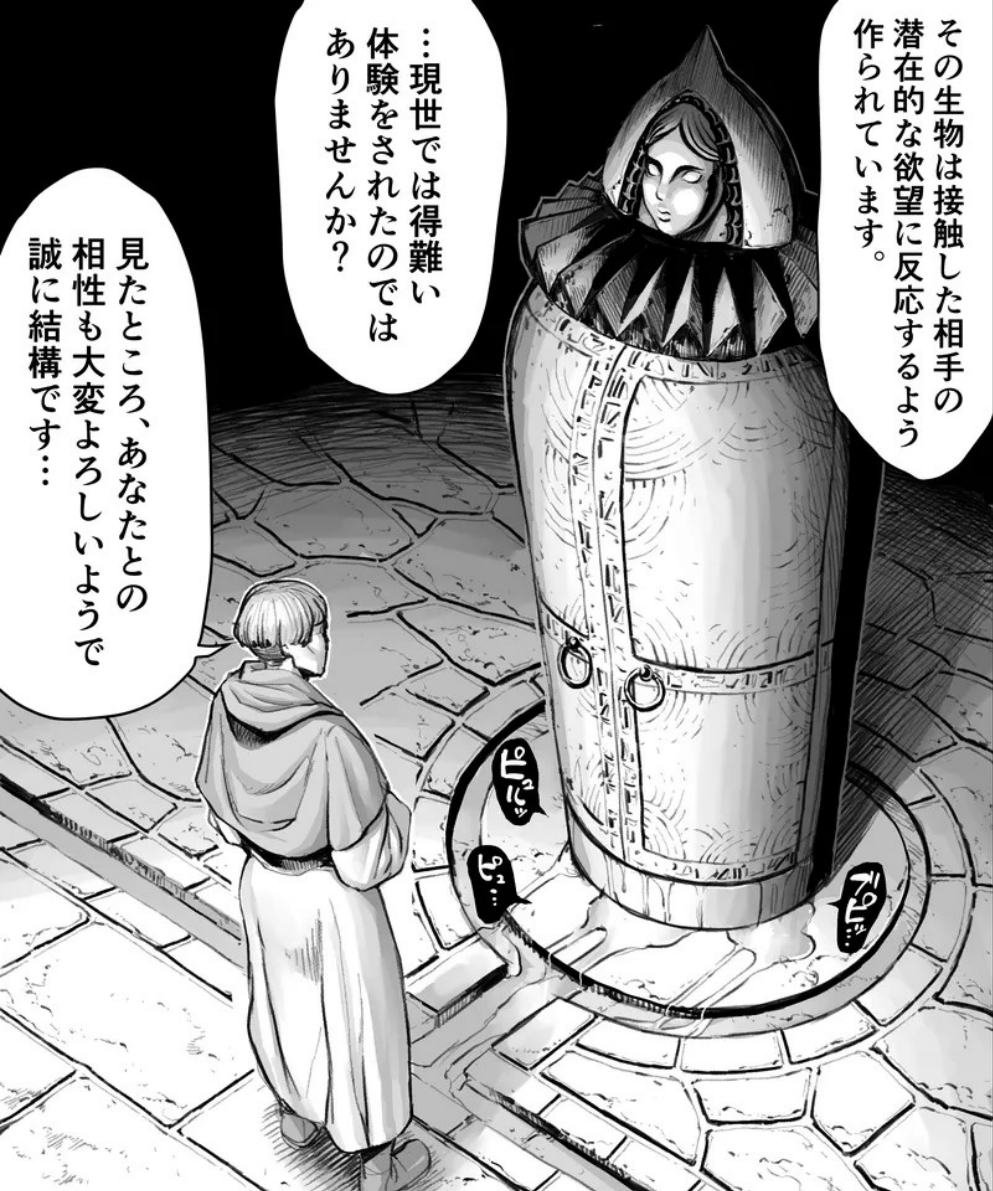


は…母…さま…

その生物は接触した相手の
潜在的な欲望に反応するよう
作られています。

…現世では得難い
体験をされたのでは
ありませんか？

見たところ、あなたとの
相性も大変よろしいようで
誠に結構です…



ビクッ！

いかがですか!?
その中の居心地は？



ですが時間です

そこから
出て頂きます。



ここから…

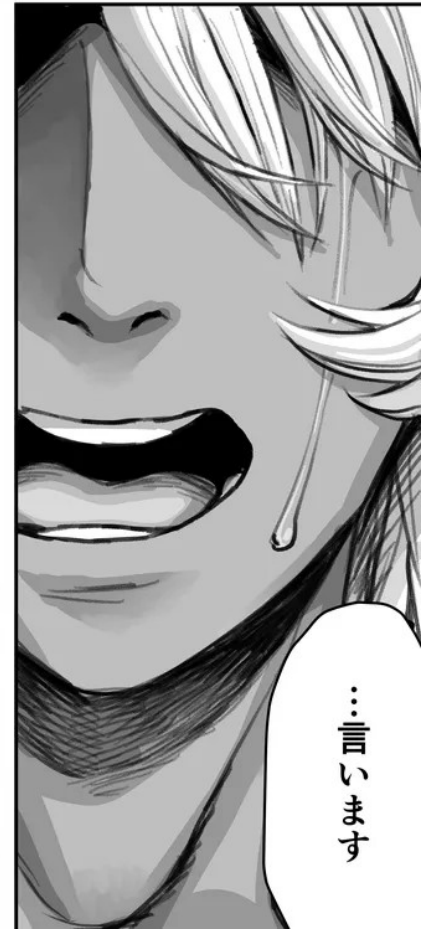
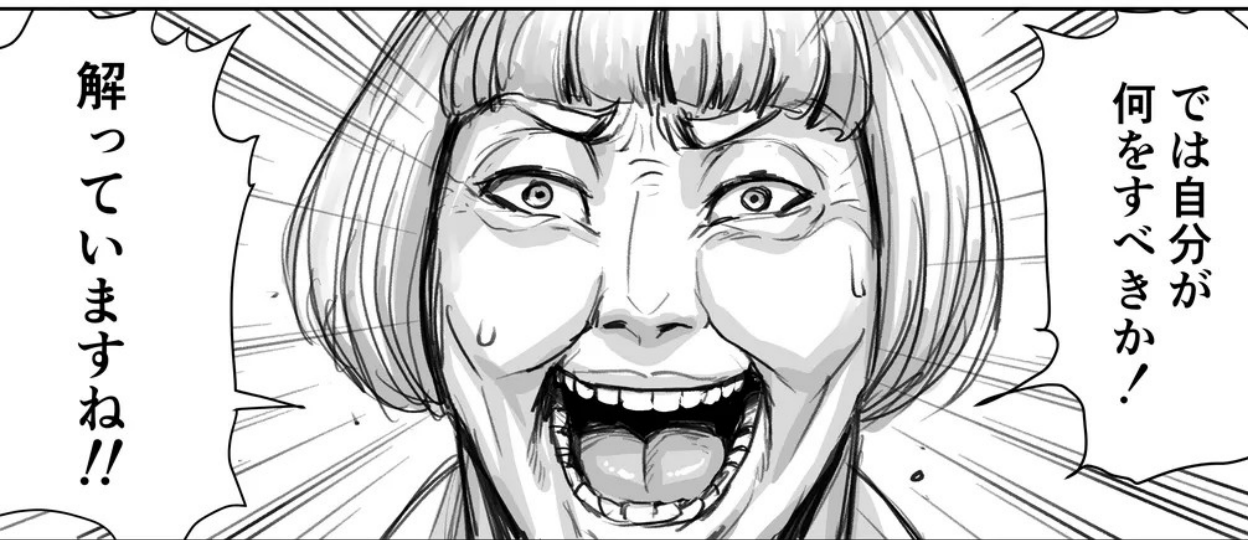
出る…？



私の愛しい…



ぽうや…







さあ…
いらっしやい…

わたしの
かわいい
ぼうや…



ゴゴゴゴ…

ザッ!

ザッ!
ザッ!
ザッ!



ズッ!

ビタッ!

ビタッ!



ああ…

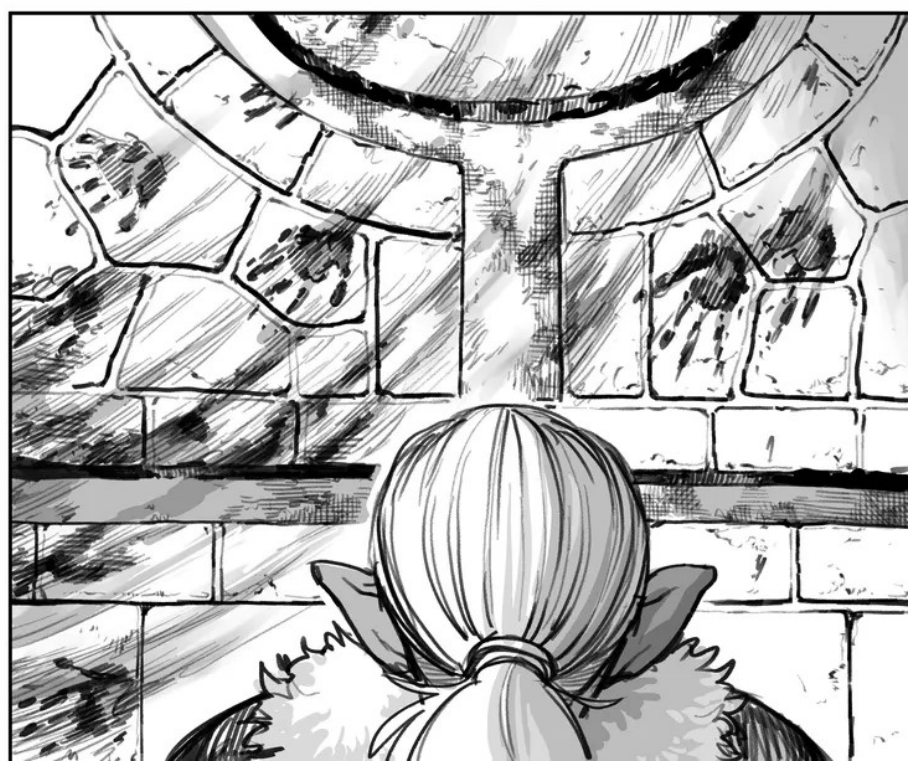
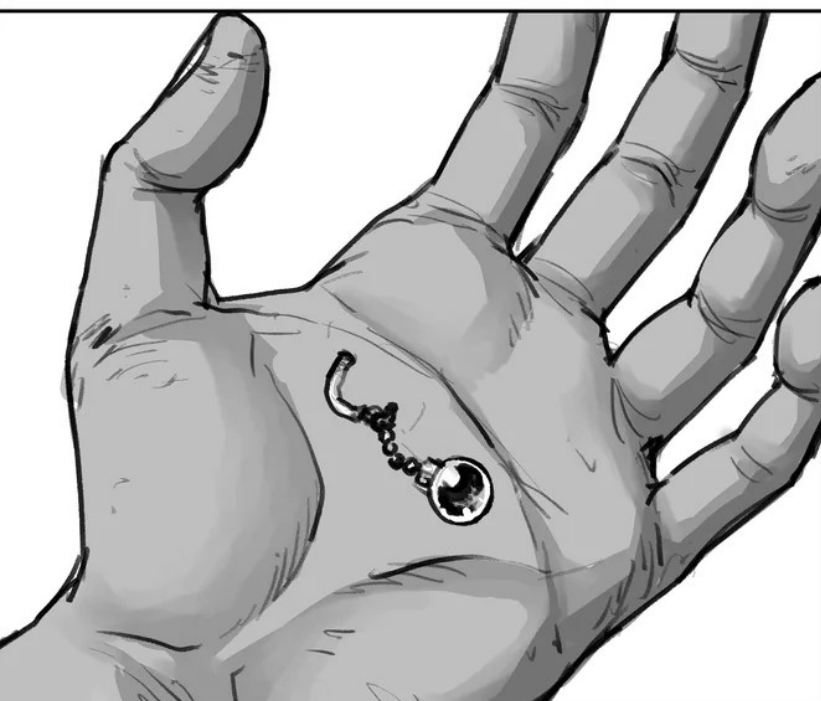
ビキッ…

キリッ!

キリッ…

母様…







END.

～あとがき～

この作品はpixivfanbox向けに描いたイラストを基に設定と物語を膨らませ製作しました。

ほぼ閉鎖空間で物語が進行していく性質上、どうしてもアングルやプレイ内容が限定されるので、単調さを回避すべく頑張りました。

ページ数の割にはかなり作画コストが高く、自ら課している年に一本の作品発表のペースを守れませんでした。今回も何とか最後まで完成させることができました。

この度作品をお買い上げ頂いた皆様、そして日頃pixivfanboxで支援して頂いている皆様のおかげで、私は次の作品に向けて一歩足を踏み出すことができます。

本当にありがとうございました。

だぶるでっく

~AFTERWORD~

THIS WORK WAS CREATED BY EXPANDING THE SETTINGS AND STORY BASED ON ILLUSTRATIONS I DREW FOR PIXIV FANBOX.

DUE TO THE NATURE OF THE STORY PROGRESSING ALMOST ENTIRELY IN A CLOSED SPACE, ANGLES AND PLAY CONTENT ARE INEVITABLY LIMITED, SO I WORKED HARD TO AVOID MONOTONY.

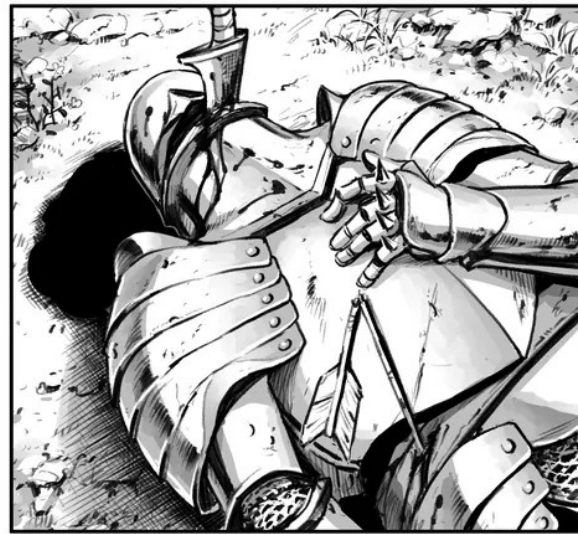
DESPITE THE PAGE COUNT, THE ARTWORK COST WAS QUITE HIGH, AND I COULDN'T KEEP MY SELF-IMPOSED PACE OF RELEASING ONE WORK PER YEAR, BUT THIS TIME TOO, I MANAGED TO COMPLETE IT TO THE END SOMEHOW.

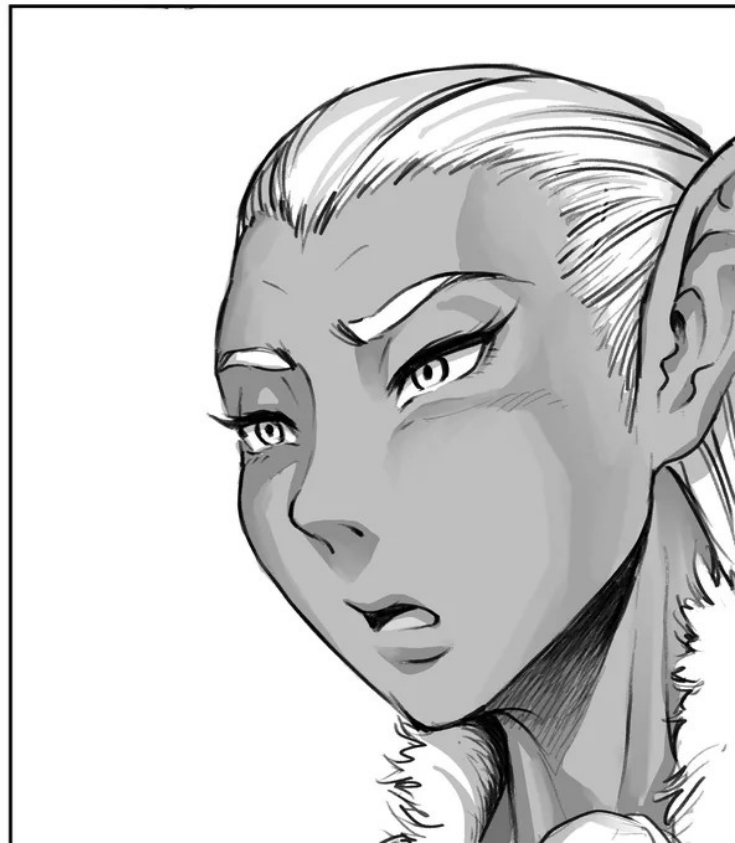
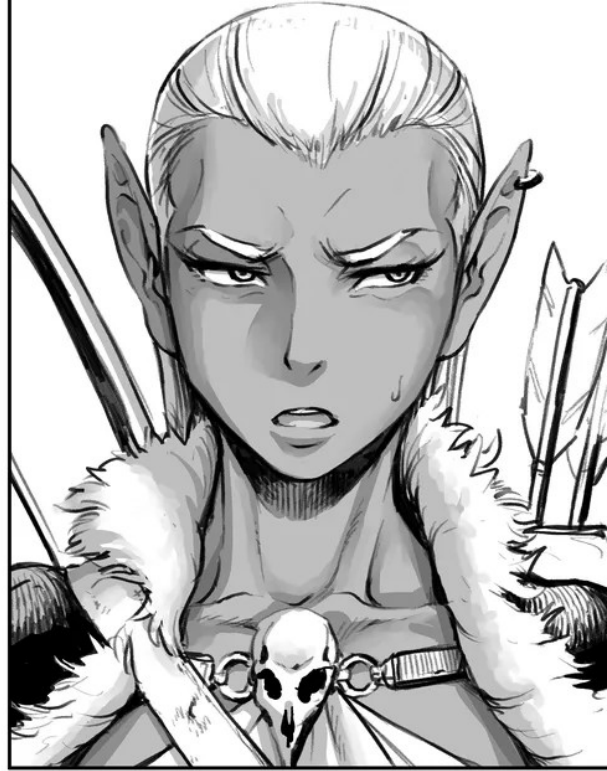
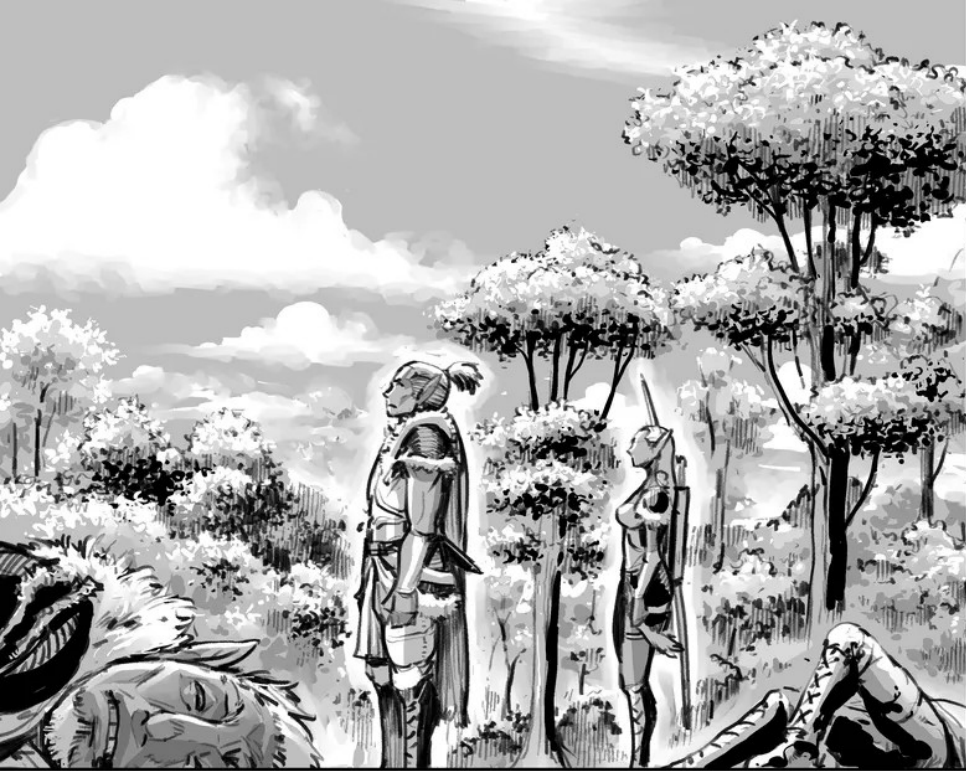
THANKS TO EVERYONE WHO PURCHASED THIS WORK THIS TIME, AND TO EVERYONE WHO SUPPORTS ME DAILY ON PIXIV FANBOX,

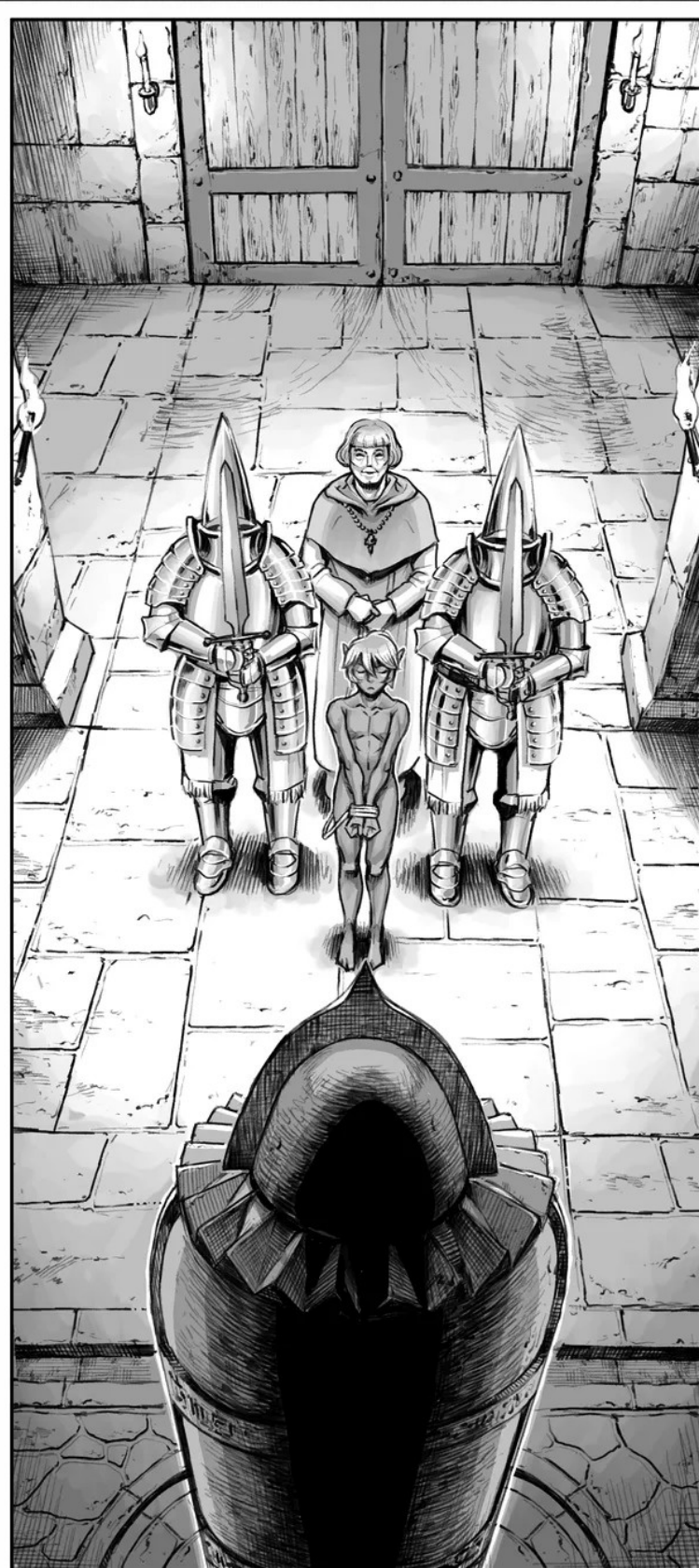
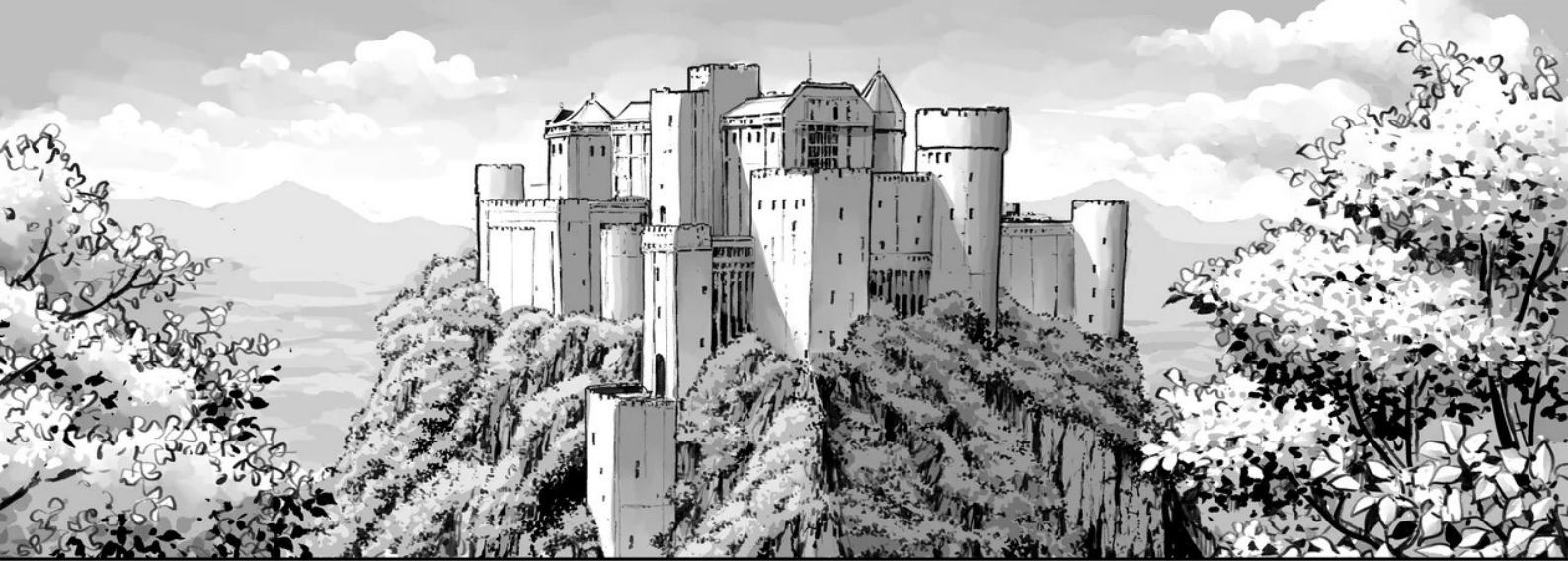
I CAN TAKE A STEP FORWARD TOWARD THE NEXT WORK.

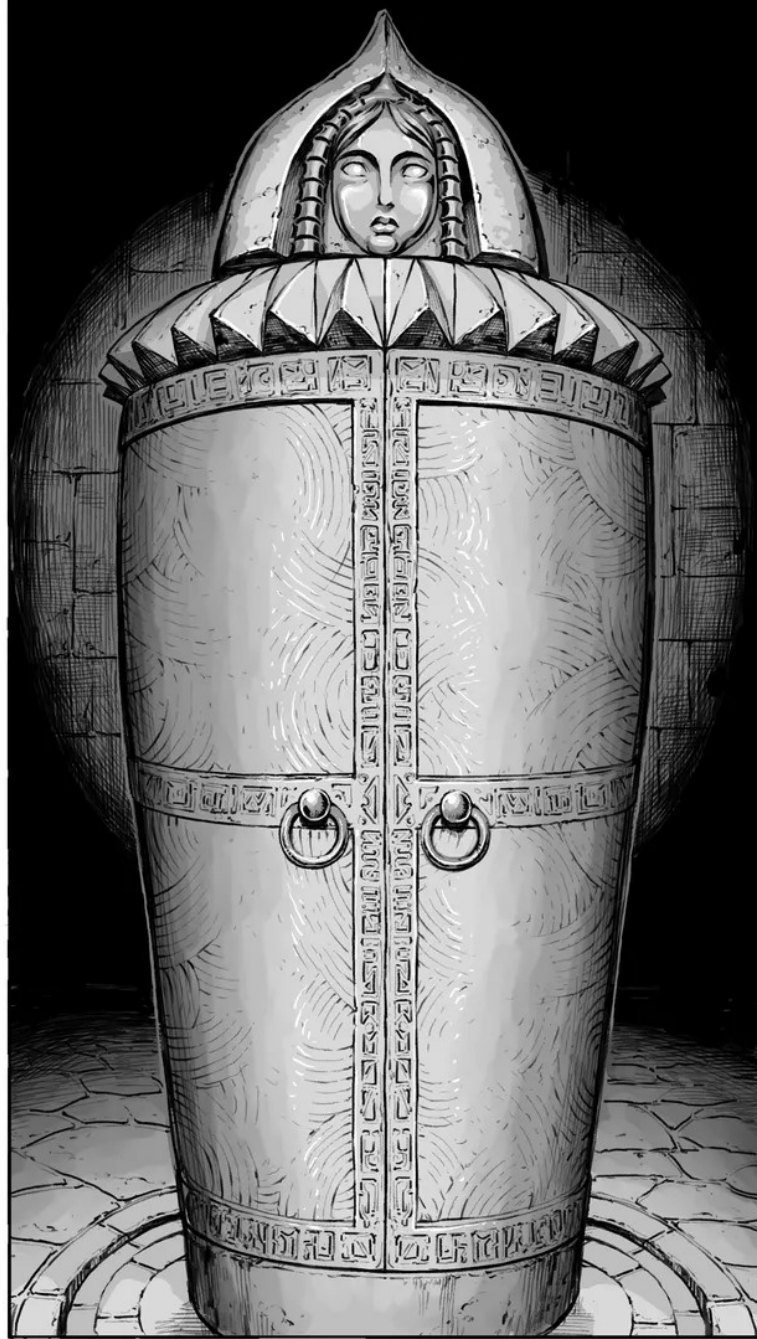
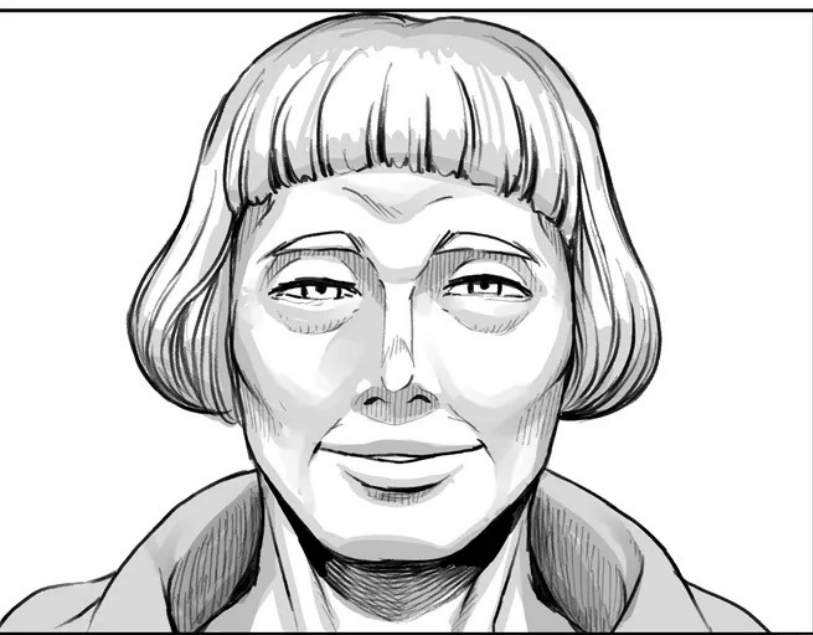
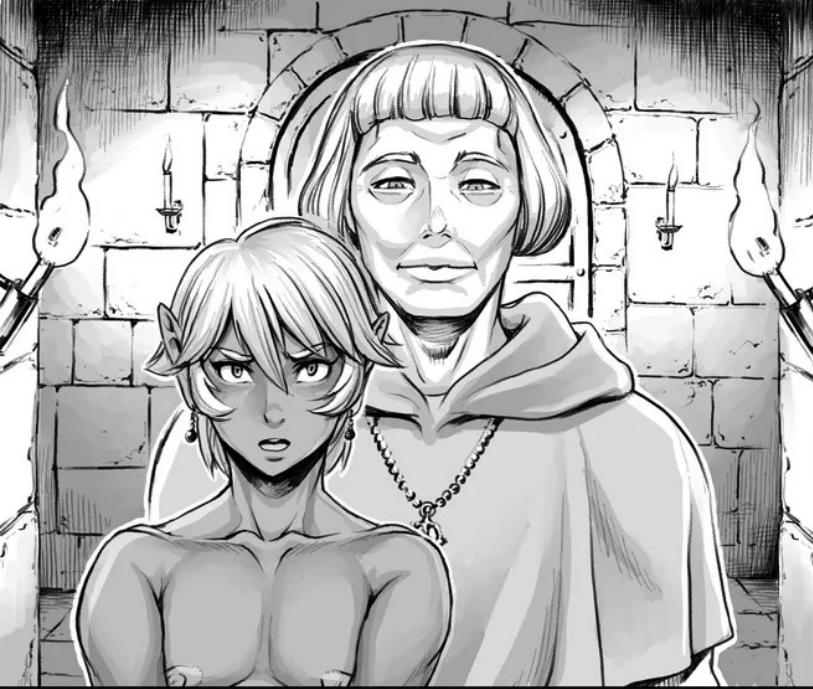
THANK YOU VERY MUCH.

DOUBLE DECK

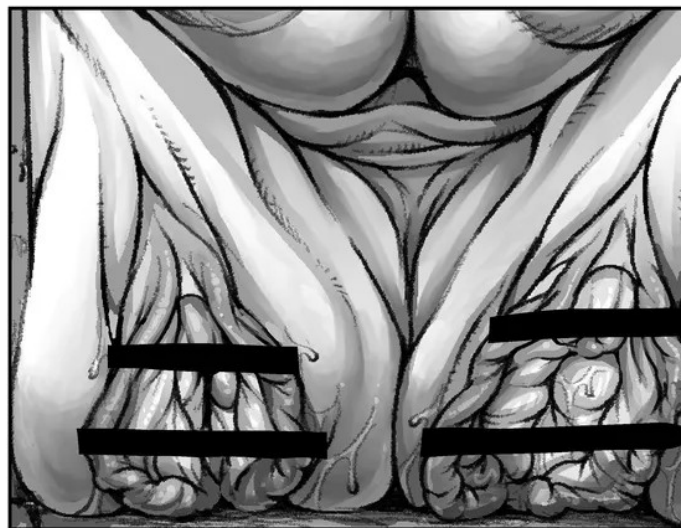
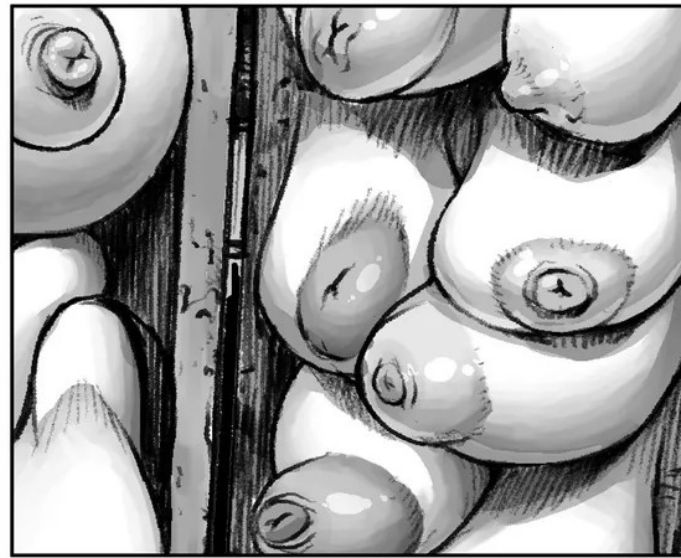
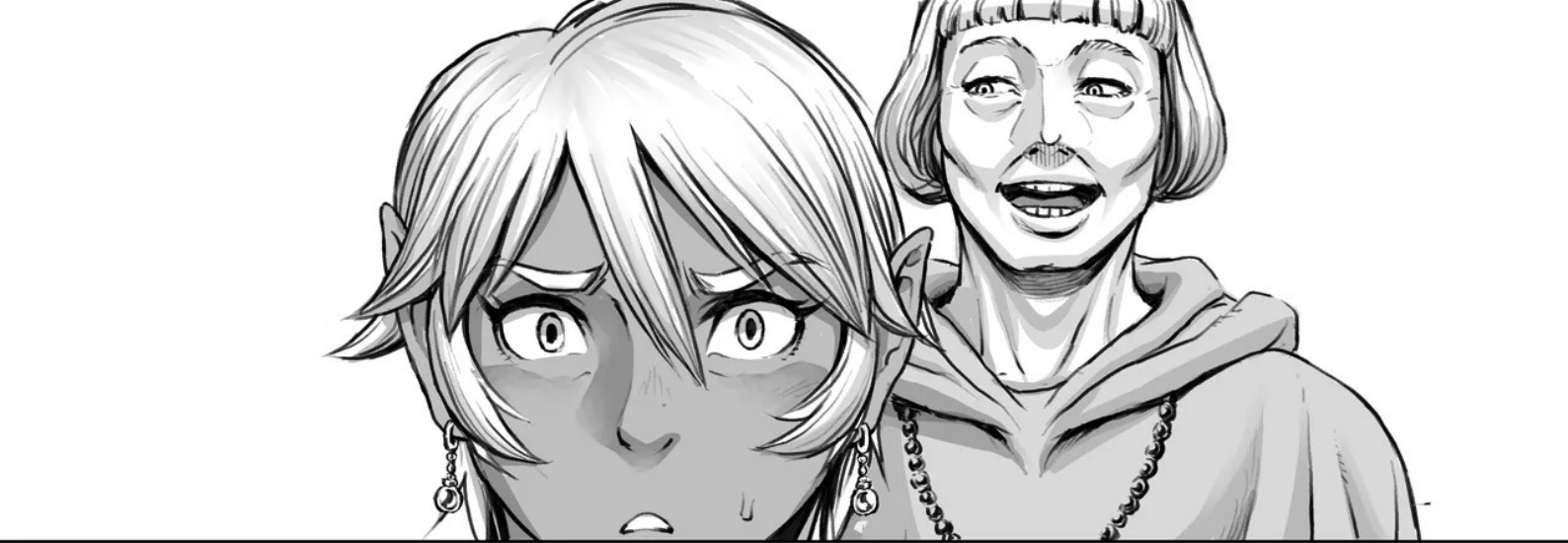


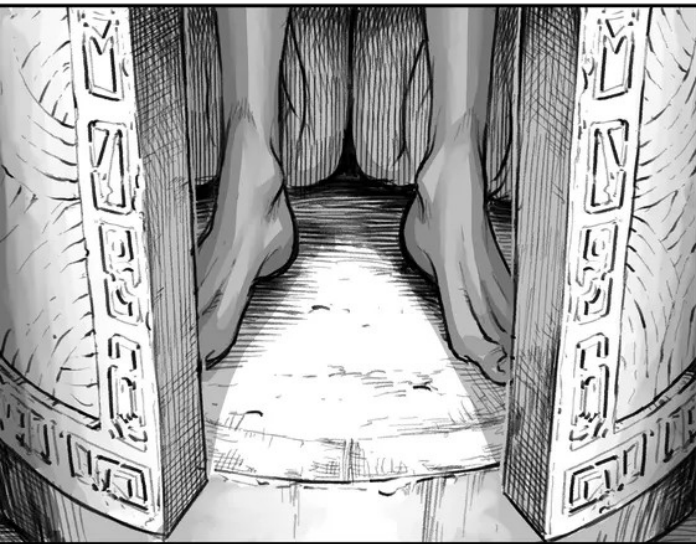
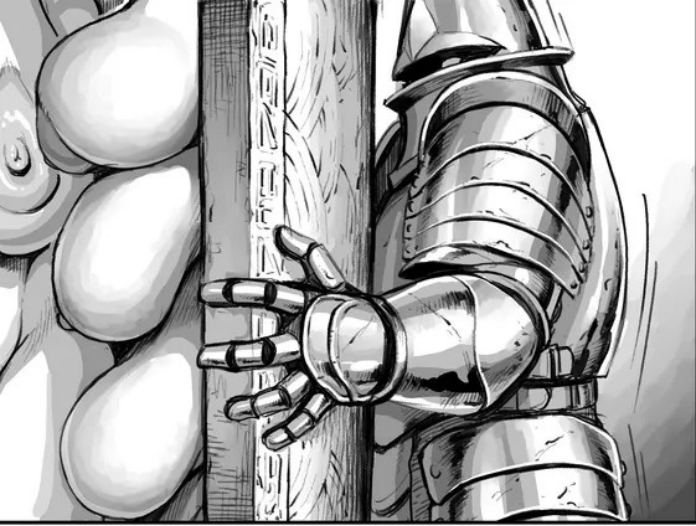










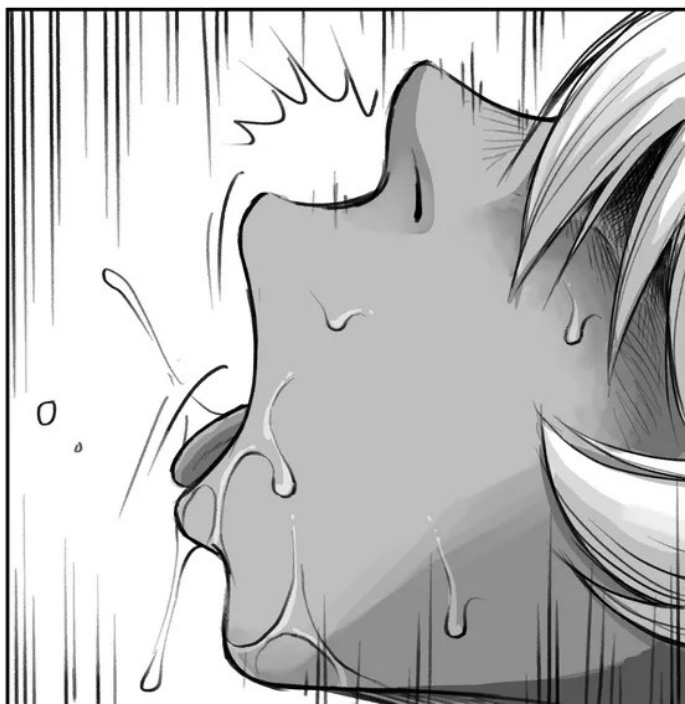


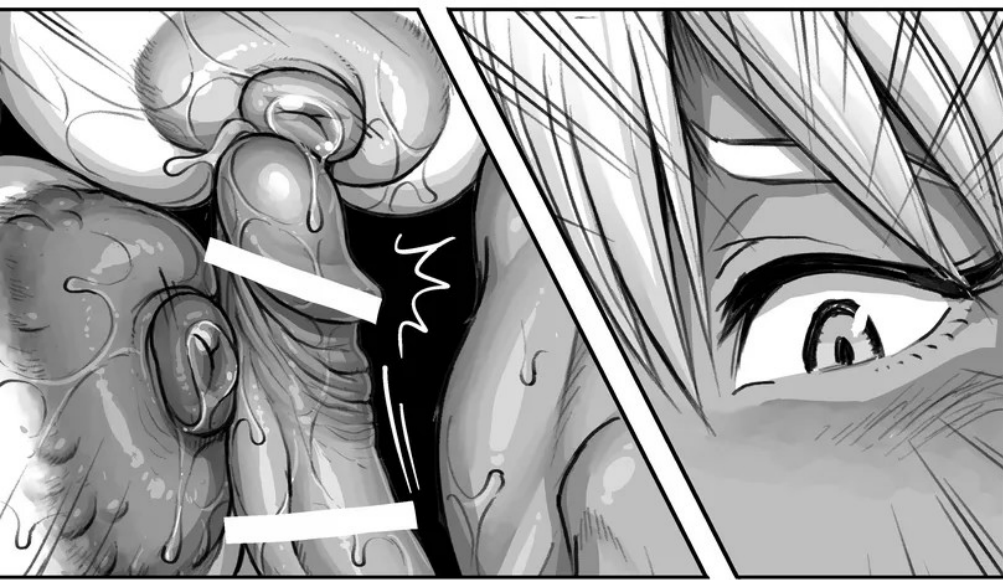




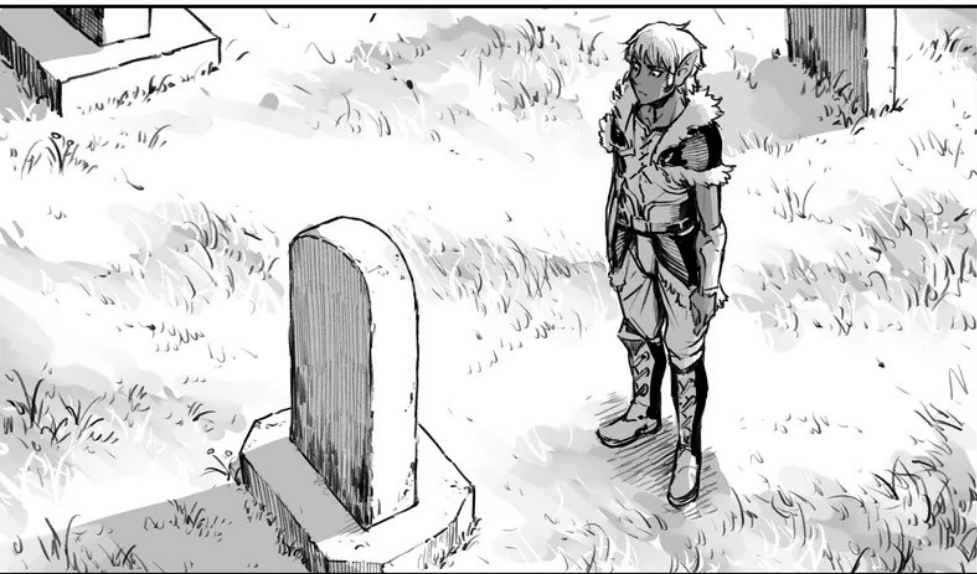
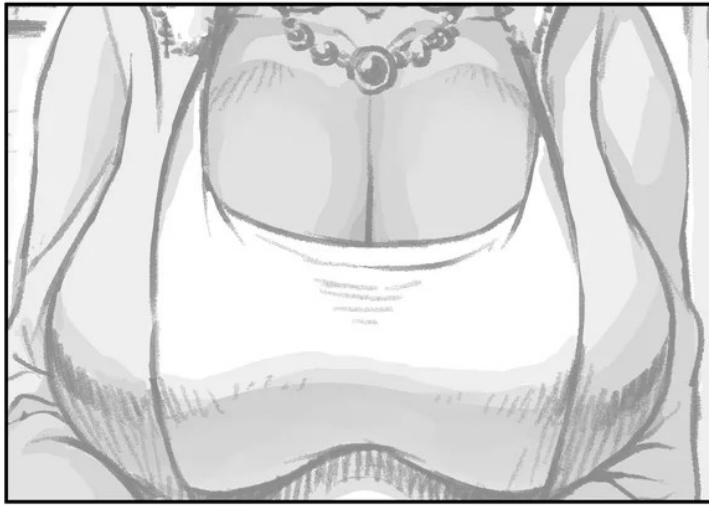
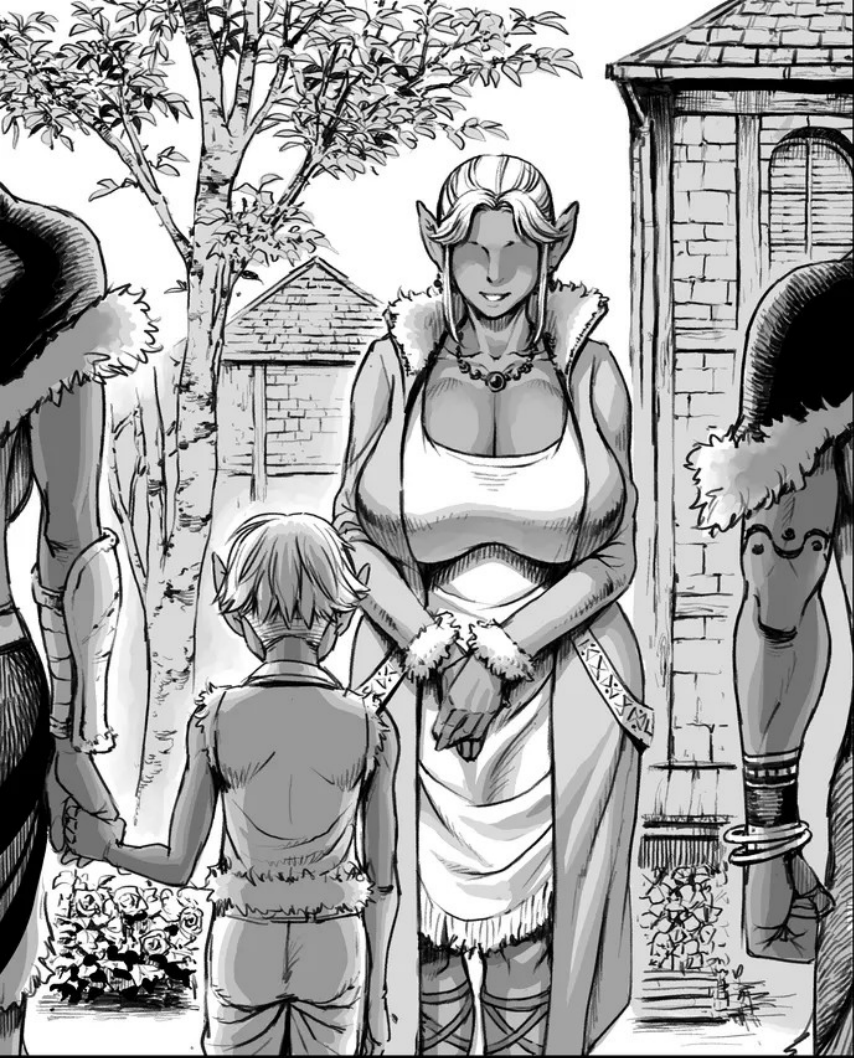






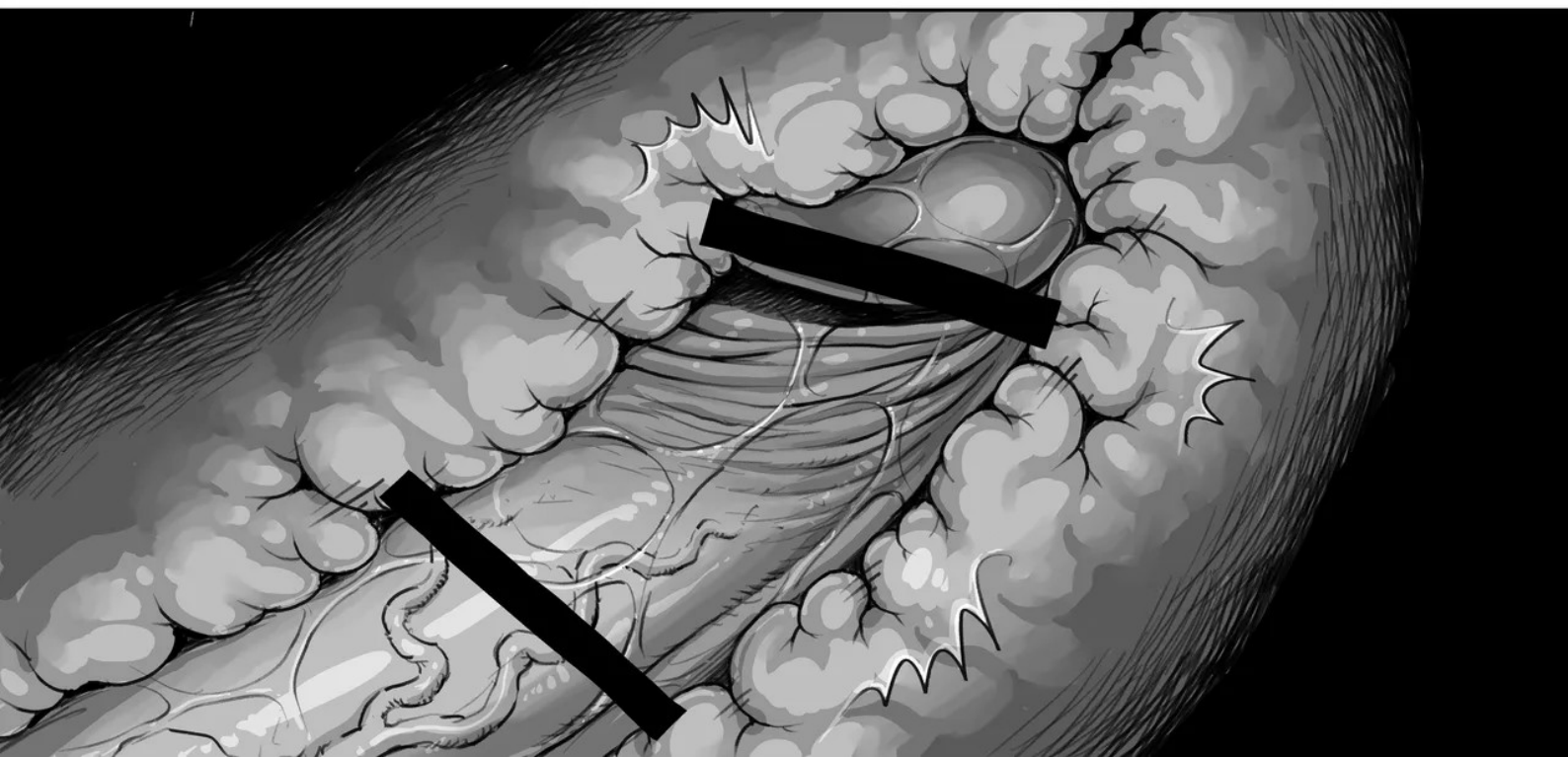


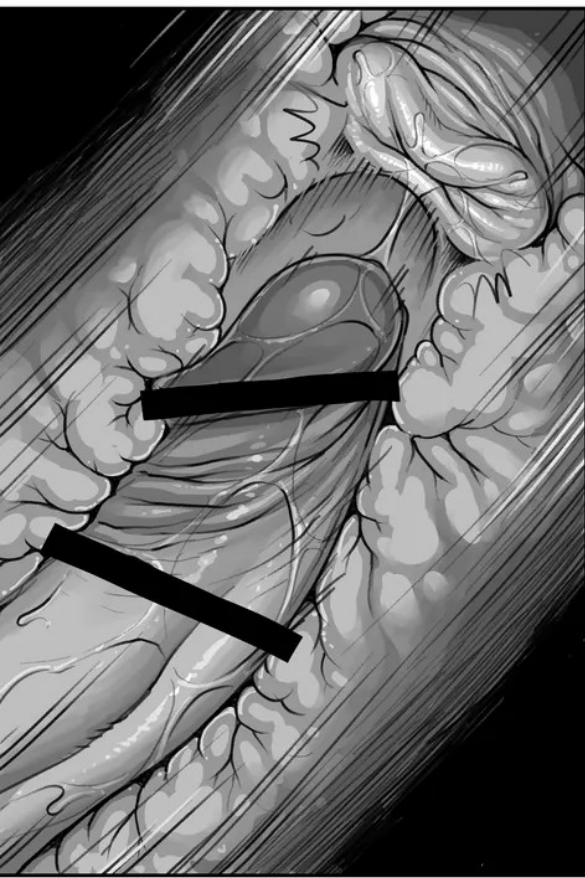


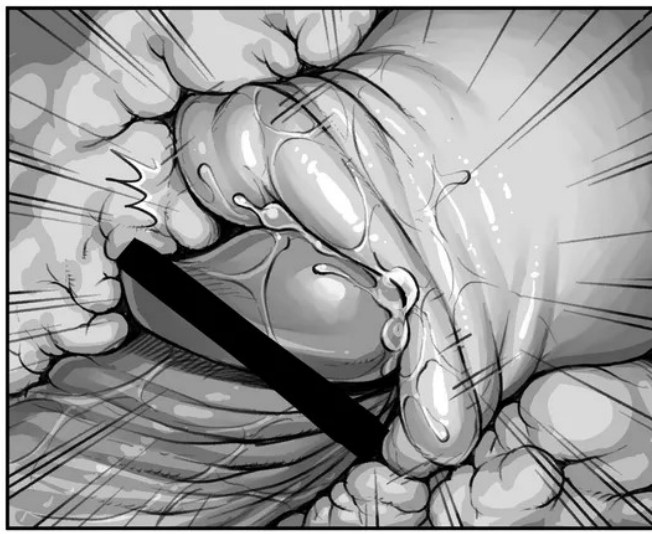
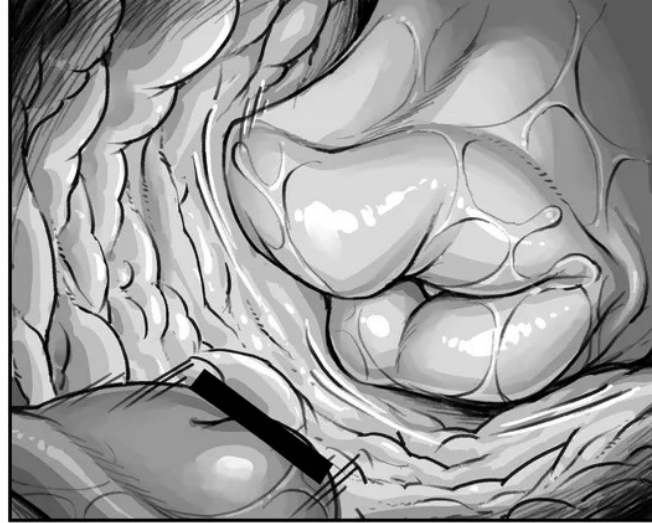


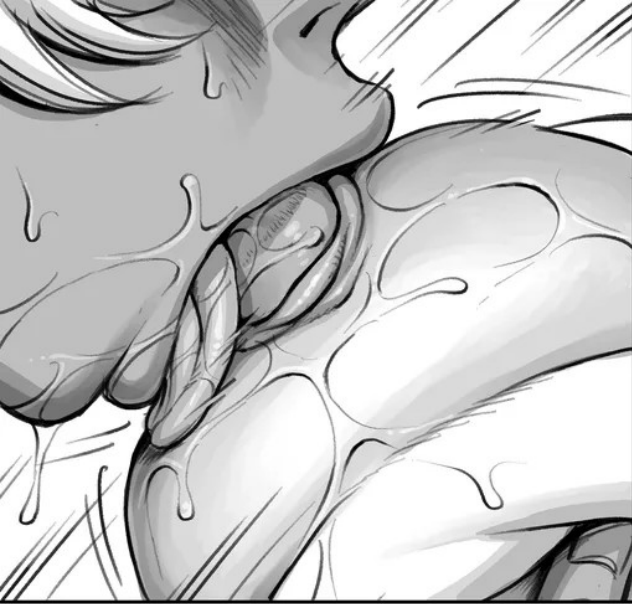


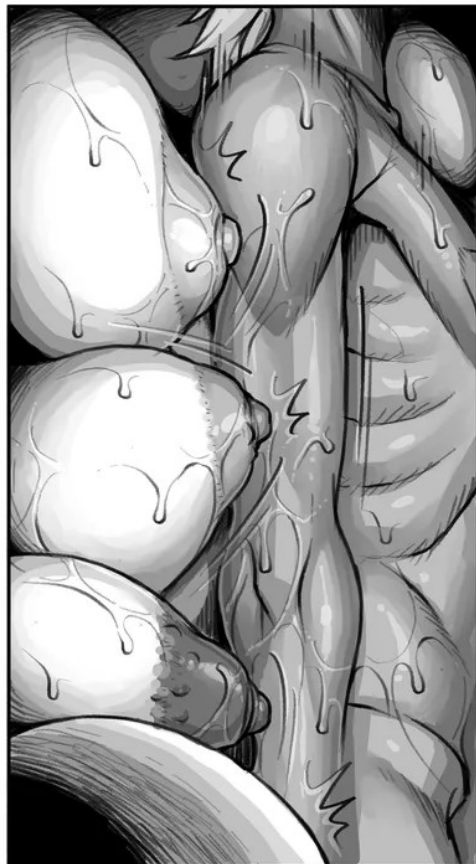
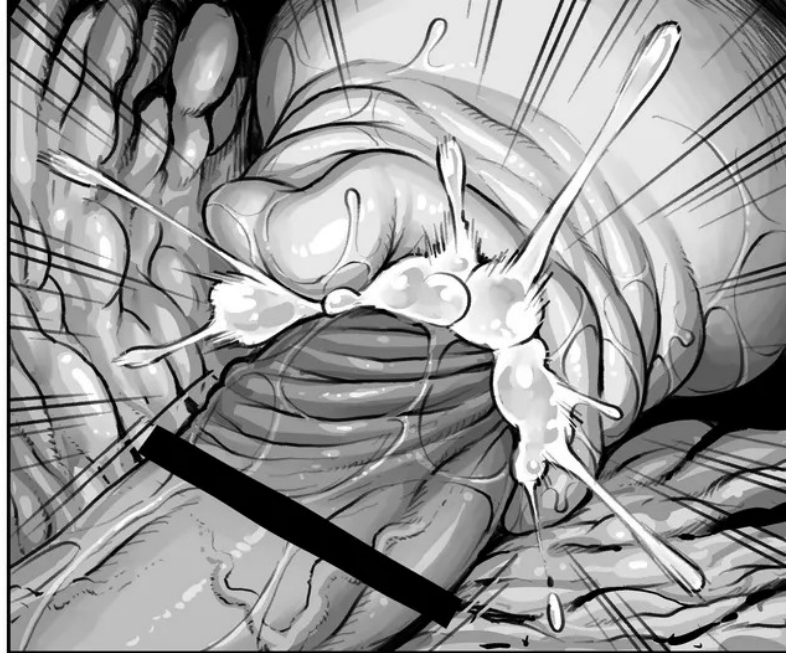


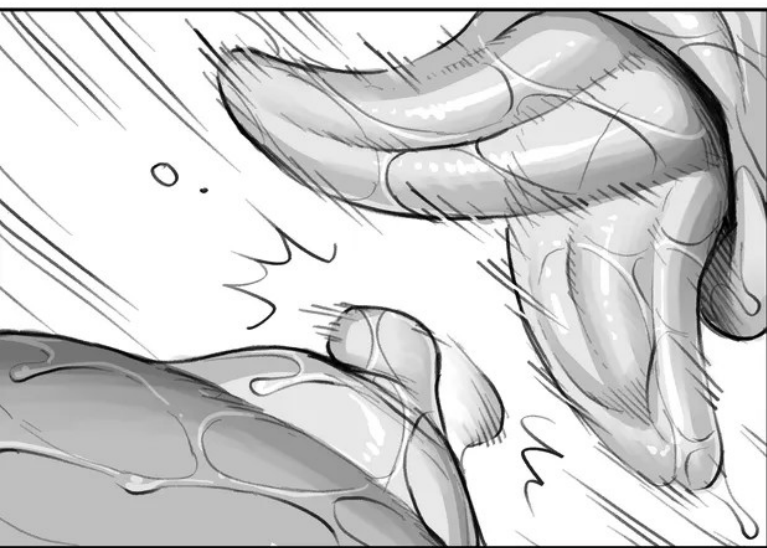


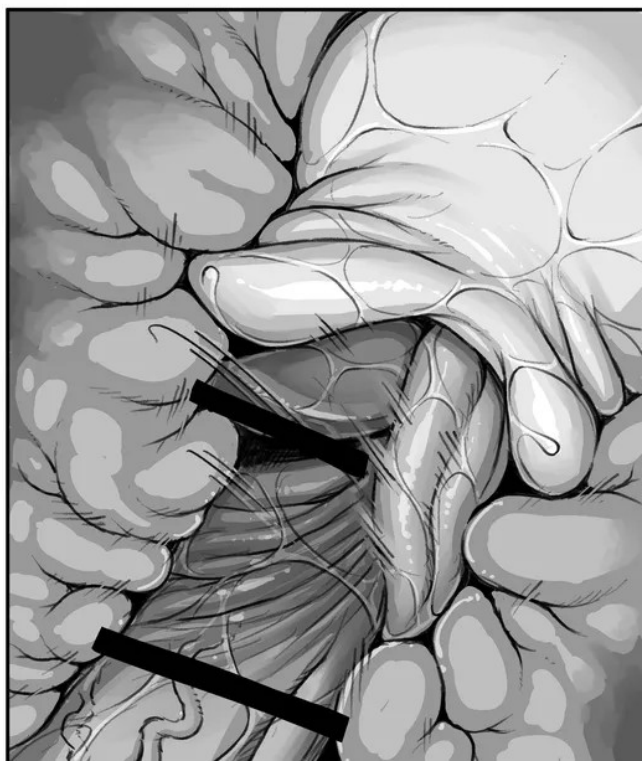




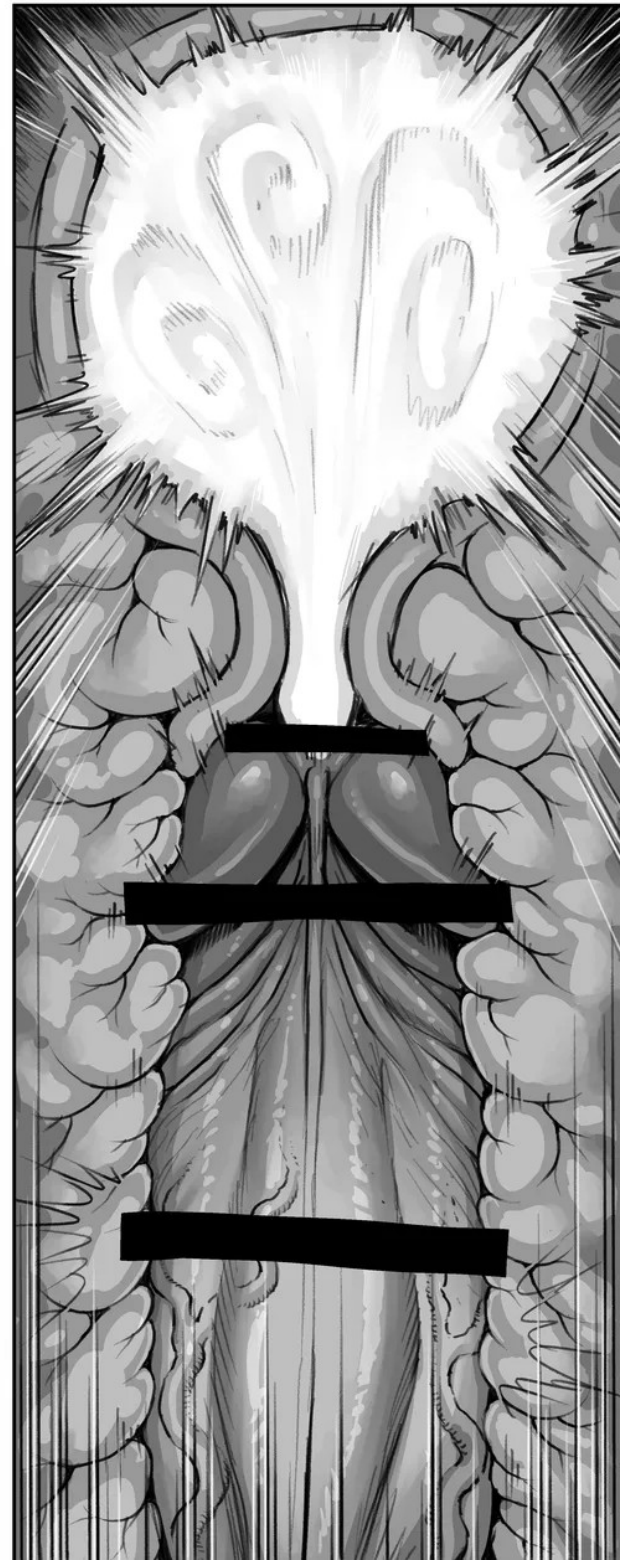


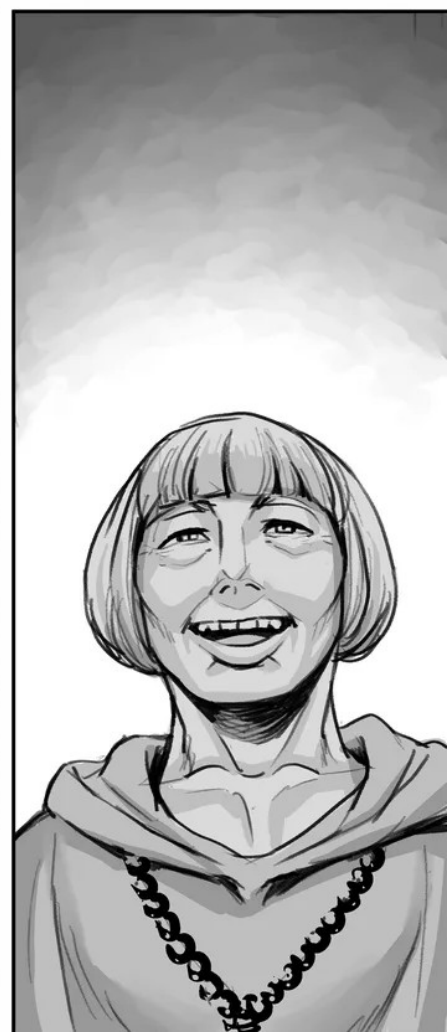


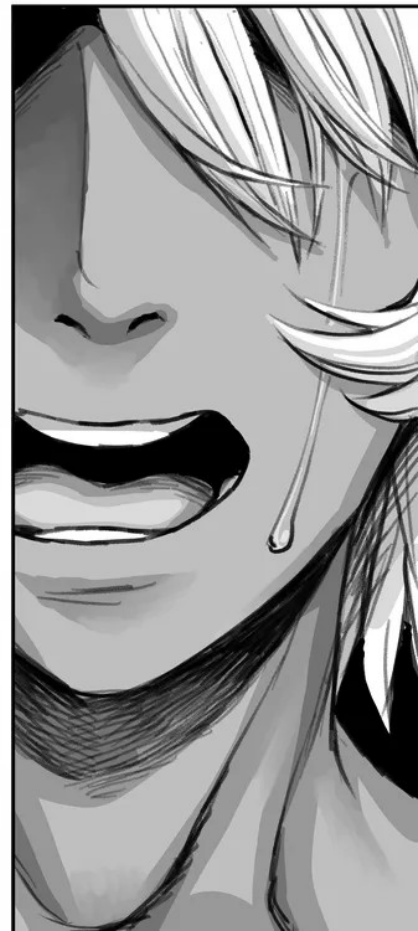
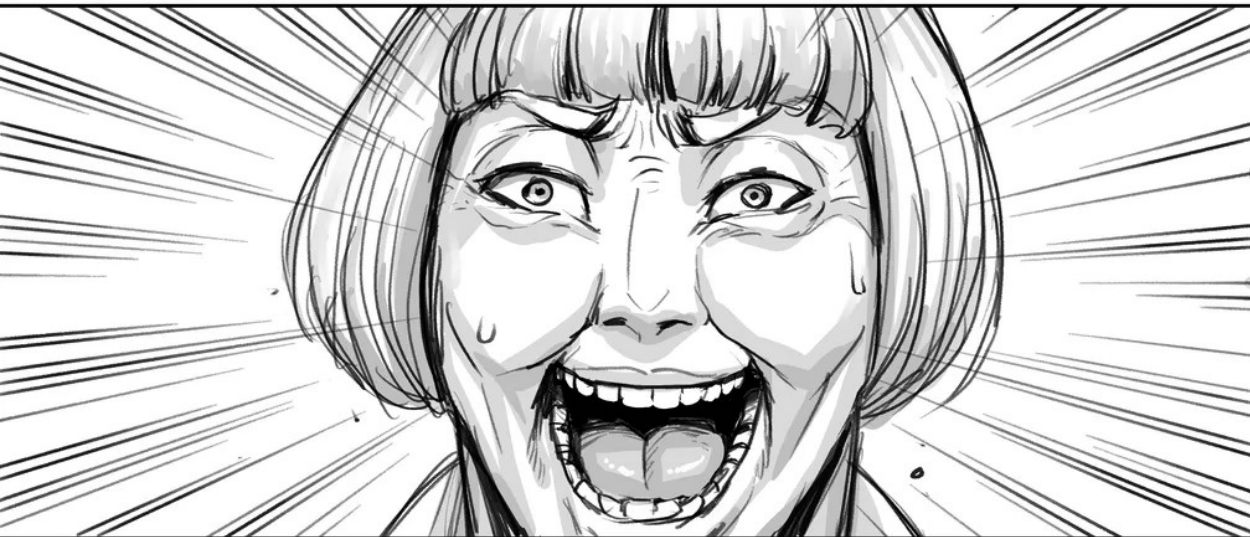


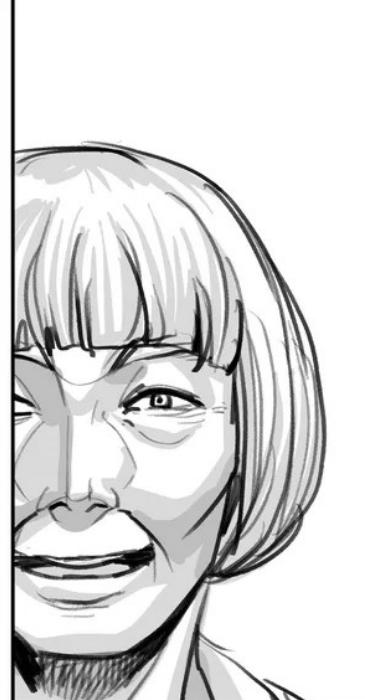


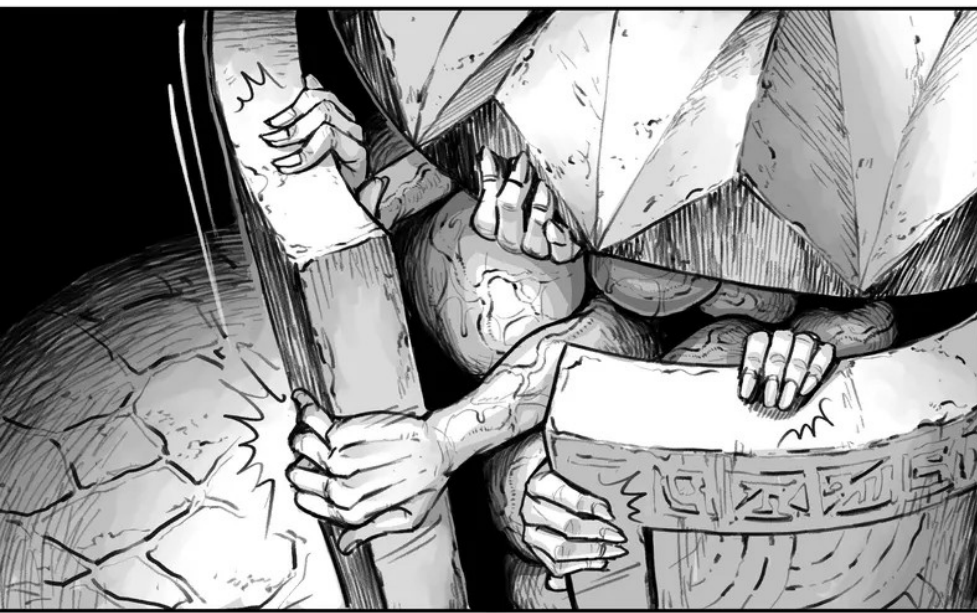


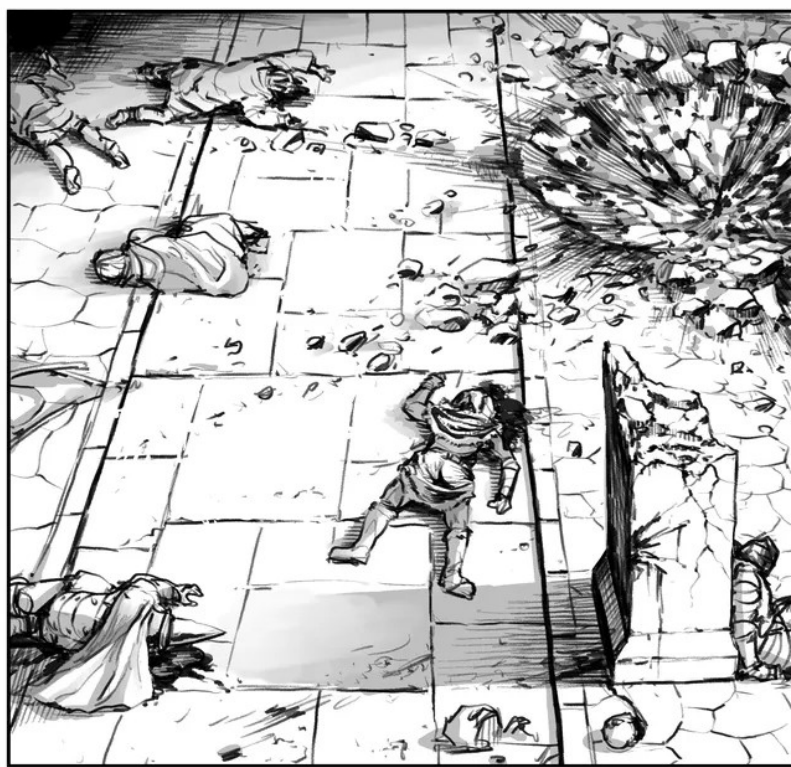


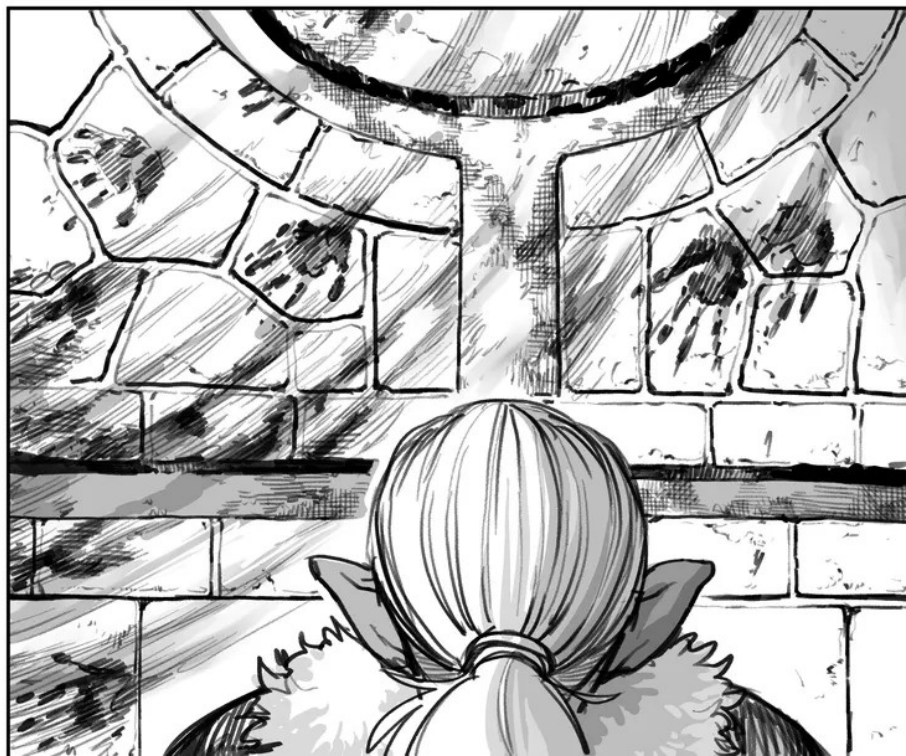
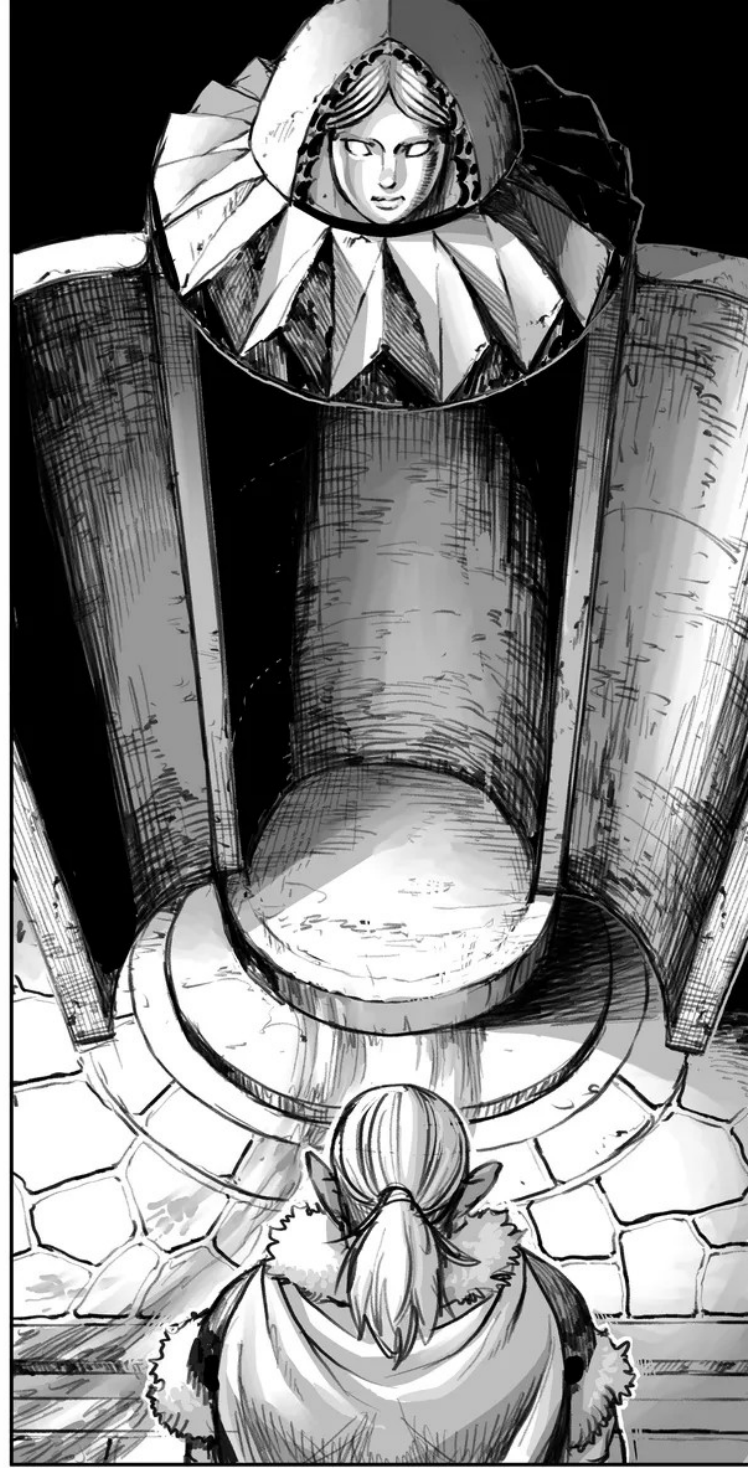
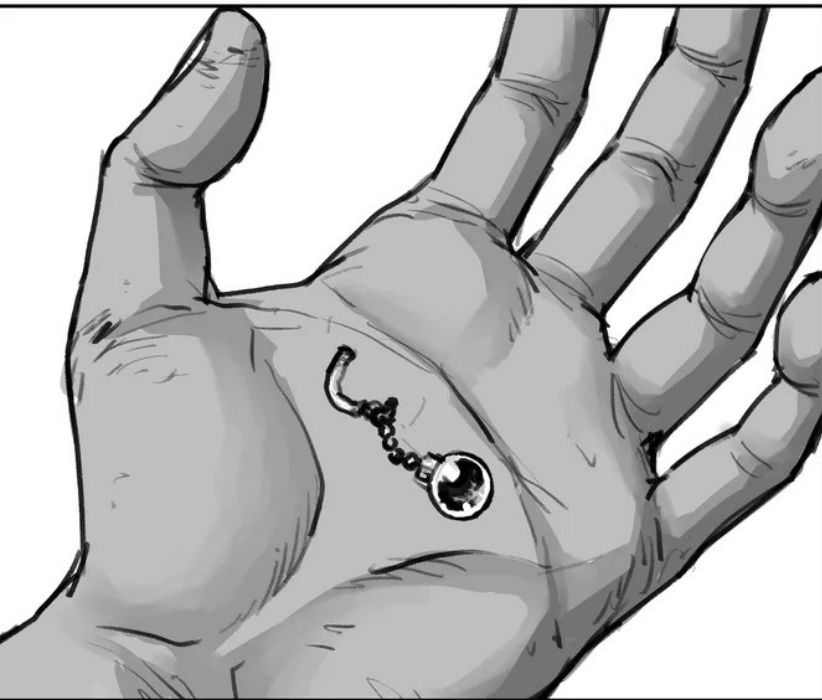














END.